

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### あけましておめでとうございます

記事

公開日: 2011/01/01 17:18



画像入手書籍: いきなりプリント年賀状2011年版  
書籍出版元: 技術評論社  
HP: <http://gihyo.jp/book/nenga/>

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

記事

公開日: 2011/01/04 19:19

2011年もはじまりました。  
あっというまの正月休みでしたが、いいお休みになりました。  
初詣のおみくじは大吉、おせちを食べすぎ、親や親戚に年始の挨拶、届いた年賀状を見ながらこたつでTVをみ。  
4日になって、まだ年賀状は着てないかなとポストを覗くと、水道料金のお知らせが一枚入っていました。

高っつ！

あああ、今年も始まったという感じがしました。

お風呂の残り湯を洗濯に利用して、節約に努めている(妻が)んですが、効果が出ているのか疑問なので、計算してみました。

うちの場合、お風呂と洗濯機が離れているので、バケツで運んでいます(妻がwww)

バケツの体積

(底が小さくなっているので)

上:23cm 下:20cm 平均:21.5cm

高さ:20cm

体積: $0.1075 \times 0.1075 \times \pi \times 0.2 = 0.007\text{m}^3$

水道料金 (使用水量30m<sup>3</sup>を超え50m<sup>3</sup>までの分)

255円

バケツ1杯あたり

$255 \times 0.007 = 1.785\text{円}$

洗濯機1回あたりバケツ12杯

$1.785 \times 12 = 21.42\text{円}$

1ヶ月(30日)あたり

$21.42 \times 30 = 642.6\text{円}$

ということで、1ヶ月に600円くらいの節約になっているということがわかりました。

おおお(・o・) 結構すごい♪

水道料金について

松山市公営企業局水道サービス課

[http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kg\\_eigyo/1178655\\_1080.html](http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kg_eigyo/1178655_1080.html)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 2011年カレンダー

記事

公開日: 2011/01/05 21:53



愛媛県林材業振興会議に行ってきました。

年始の挨拶を済ませるなり、壁にかかったセクシーなカレンダーが目に飛び込んできました。Σ(°▽°)キッ!

セクシー女性のかたわらにはチェーンソーが。STIHLというチェーンソーメーカーのカレンダーだそうです。

振興会議が入っている建物内には、林業関係の団体などがいくつか入っていて、その中にはチェーンソーなどの林業機械や重機の安全講習を行っているところもあって、そこに配られたそうですが、その事務所には女性社員も居てとても使えないということで、回り回って振興会議の壁に収まったそうです。

でも、カレンダーの数字が小さくて見づらいということで、すぐに普通のカレンダーと交換されていました(笑)

セクシー女性で思いつくのが、レーシングカーのレースクイーンや自動車のキャンペーンガール、ボクシングのラウンドガールです。昔は戦闘機に女性を描いたりしていました。

“勝利の女神”と言う言葉もあります。

なんでセクシー女性なんでしょう?・・・わかりませんが、もしもマッチョな男だったとしたら。トヨタ(株) ω→イオン

チェーンソーのSTIHL  
<http://www.stihl.co.jp/>

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 後始末

記事

公開日: 2011/01/06 21:36



松山市役所経由で、建築士会と建築士事務所協会へ行ってきました。

建築士事務所協会へは、毎年提出しないとイケない“設計等の業務に関する報告書(建築士法第23条の6の規定)”を持って行ってきました。

松山市役所の隣の鉄筋コンクリート造の建物が解体工事中でした。

木造だったら、もうちょっと楽に解体できるだろうなと思いながら見ていました。

“後始末”のことまで考える、始まりから結末まで。設計は造る事だけ考えていたんではいけないなあ、としみじみ思いました。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事

#### 地域材利用促進の活動

記事

公開日: 2011/01/08 22:33



愛媛県生涯学習センターで行われた、ふるさとの森林講座第1回“最もエコで人に優しい、身近な山の木で地産地消の家づくり”に参加してきました。  
日ごろお世話になっている方が講師を務められたので。  
(昨年も一度参加しました。)

センター建物の外から、石鎚山がきれいに見えました。

### 記事カテゴリ

- [»記事](#)
- [»キャンペーン](#)
- [»料金表](#)
- [»日記](#)
- [»TOP](#)

### 過去の記事

- [»2011年04月](#)
- [»2011年03月](#)
- [»2011年02月](#)
- [»2011年01月](#)
- [»2010年12月](#)
- [»2010年11月](#)
- [»2010年10月](#)
- [»2010年09月](#)
- [»2010年08月](#)
- [»2010年07月](#)
- [»2010年06月](#)
- [»2010年05月](#)
- [»2010年04月](#)
- [»2010年03月](#)
- [»2010年02月](#)
- [»2010年01月](#)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 筋交い実験見学

記事

公開日: 2011/01/11 21:20



今年も昨年に続いて、香川県の試験場で行われた木造軸組工法用耐力壁の実験に参加してきました。

試験場は職業能力開発大学校の施設で、学生さん達の授業として実施された“筋交い耐力壁”の実験を見学することができました。

衝撃的でした。内容は、後日書くことにします。

明日も試験場に行くので、今日はさっさと寝ます(笑)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

記事

公開日: 2011/01/12 22:14



昨日に続いて、香川県の試験場で行われた木造軸組工法用耐力壁の実験に参加してきました。

高い壁倍率の耐力壁の場合、柱と横架材の接合部の方が、壁が壊れる前に壊れてしまいます。ホールダウン金物とアンカーボルトが変形しながら、なんとか柱が引き抜けるのをつなぎとめていますが、仕口は抜けかけています。(写真:変形量1/15)

実際は、上部構造(屋根や2階)を支えているので、これだけ仕口が抜けてしまうと上部構造を支えられず落ちてくるのが考えられます。高い壁倍率の耐力壁はあまり採用しないほうがいいのがよくわかります。

耐力壁の壁倍率を決める基準になる変形角は1/15までと決まっています、その理由は1/15以上になると水平力よりも上部荷重による押さえ込み効果の方が、建物の倒壊への影響が大きくなるためです。実験を見ていると、その理由がよくわかります。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### コーヒーと建築

記事

公開日: 2011/01/13 21:08



先週木造建物の見学に行った、砥部焼きとカフェのお店に、ふたたび行ってきました。今日はコーヒーをいただきながら、ゆっくりじっくり見学しました。



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事

#### 記事

公開日: 2011/01/14 22:40

今日も、香川県の試験場で行われた木造軸組工法用耐力壁の実験に参加してきました。

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

- [»記事](#)
- [»キャンペーン](#)
- [»料金表](#)
- [»日記](#)
- [»TOP](#)

### 過去の記事

- [»2011年04月](#)
- [»2011年03月](#)
- [»2011年02月](#)
- [»2011年01月](#)
- [»2010年12月](#)
- [»2010年11月](#)
- [»2010年10月](#)
- [»2010年09月](#)
- [»2010年08月](#)
- [»2010年07月](#)
- [»2010年06月](#)
- [»2010年05月](#)
- [»2010年04月](#)
- [»2010年03月](#)
- [»2010年02月](#)
- [»2010年01月](#)

### 記事

#### 木の家

##### 記事

公開日: 2011/01/15 21:53



地元の山で育った木を使うこと、地域木材の利用促進の取り組みが行われています。

昨年に続き今年になってからも、度々香川県の試験場で行っている木造軸組工法用耐力壁の実験も、取り組みの内の一つです。

木材の利用先として大きいのが住宅市場です。住宅市場では、木造以外に鉄骨造や鉄筋コンクリート造があります。木造でも、在来工法の梁ではベイマツなどの外国材が使われたり、2x4工法ではほとんど外国材です。

林業-原木市場-製材業-プレカット-工務店-お客さんと、木材が家になるまでにはたくさんの人が関わり、直線関係で表すとその距離感がよくわかります。

関わる人が多いということは、それだけいろんな思惑が絡んできます。

そういうところで、地域木材の利用促進も地道に努力が重ねられているわけですが、ちょっと考えてみると、この“直線”の端と端をくっつけて“輪”にすると、林業とお客さんはとても近くの存在で、そして関係する人たちみんなが一つの中に納まります。

現実には絵に描くように簡単ではないですが、

工務店というひとくくりの中には、大工さん・左官屋さん・屋根屋さん・電気屋さん・水道屋さん・・・といったたくさんの業種が関わっていますから、住宅業の中には本当にたくさんの人が関わって、暮らしを立てているわけです。

まるで、“輪”が地域そのものに見えてきます。

今の住宅業で大きな立場にあるハウスメーカーなどは、この輪を合理的に、工業化して効率と品質確保を図っています。

地域で暮らしている小さな工務店や職人さん達による輪と、ハウスメーカーの輪、どちらも見た目は同じ輪ですし、同じように住宅はできますが、別物の輪です。

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

輪と地域を同じ関係として考えて、輪の穴から今の地方の様子を覗いてみると、何が起きているのかが見えてきます。

結局それは、自分の暮らしを守ることに繋がっていく気がします。

大企業の製造工場が地方にやってきて、たくさんの雇用が生まれたと同時に地元の零細企業は店を閉めました。そして大企業は海外に拠点を移し、その後には何が残ったのか。

といっても、輪に魅力が無いのに、無理に押し付けられるのは困ります。

今の時代に合うように輪も磨かれていかないといけません。品質や性能を求められる時代に合うものを。多様化する生活スタイルや価値感に合うものにしていく必要があります。

地産地消の家づくりのセミナー活動や、木造軸組工法用耐力壁の開発など、山側の人たちはお客さんに向けていろんな取り組みをしています。

お客さんが家づくりを考えると、ちょっとだけ家に使われる木のことを「地元の木なのかな」と気にするだけでも、直線が輪になっていく気がします。

#### ■参考

久万高原町の木だわり塾で行われた、林業見学ツアーに参加したときの様子と、設計監理した物件の工事中的写真です。

地元の木がどんなふう to 育っていて、どんな手入れが行われ、製材所でどんなふう to 木材になっていくのか。どんな人が関わっているのか。

そして、一つの家が完成するまでに、どれだけの職人さん達が関わるのか。

#### 木材の繋がり



#### 住宅の繋がり

FIIOCIO

ブログ内検索(b^-)

検索

#### お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

#### 記事ピックアップ

■過去記事一式PDFダウンロード  
 ~ブログ記事をPDFにしました~

■フォトギャラリー  
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

住宅を通しての家族の繋がり、地域の繋がり。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 本質

#### 記事

公開日: 2011/01/17 21:08



日経BP社 ケンブラッツのホームページに、  
“ガウディの教会、着工から130年で聖堂内完成へ”  
という記事が載っていました。

合わせて、  
“サグラダ・ファミリアの専任彫刻家、建設の内実を語る  
外尾悦郎氏(サグラダ・ファミリアの専任彫刻家)”  
という記事が載っています。

中に書かれている内容は、住宅に当てはめて読むことができるなと感じました。  
「聖堂は人をつくる道具」

住宅は人をつくる場所。

#### ■記事

ガウディの教会、着工から130年で聖堂内完成へ

<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101227/544913/>

サグラダ・ファミリアの専任彫刻家、建設の内実を語る

<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110111/545066/?P=1>

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

- [»記事](#)
- [»キャンペーン](#)
- [»料金表](#)
- [»日記](#)
- [»TOP](#)

### 過去の記事

- [»2011年04月](#)
- [»2011年03月](#)
- [»2011年02月](#)
- [»2011年01月](#)
- [»2010年12月](#)
- [»2010年11月](#)
- [»2010年10月](#)
- [»2010年09月](#)
- [»2010年08月](#)
- [»2010年07月](#)
- [»2010年06月](#)
- [»2010年05月](#)
- [»2010年04月](#)
- [»2010年03月](#)
- [»2010年02月](#)
- [»2010年01月](#)

### 記事

#### 第一歩

日記

公開日: 2011/01/18 21:09

今日は親ばかな話ですが(汗)ばかり、息子が初めて第一歩を歩きました。(汗) 1歳4か月と1日です。そして、その劇的瞬間を記録することができました。(一応、アップしておきます(照))



寝返りして、ハイハイして、しゃべるようになって、つかまり立ちして、自分で歩けるようになってと、どんどん成長していきます。成長していく様子はずーっと繋がっているはずなのに、ハイハイをしたときのことは覚えていなくて、突然“今”があるような、そんな感覚があります。パソコンの中に保存してある動画や画像を見ると、確かに“あのとき”があったことが確認できます。記憶の曖昧さがちょっとさみしいような気分になります。

毎日はあっという間に過ぎていきます。“気が付いたらお爺さんになっていた”ということもありえそうです(汗)

一日一日を大切にしないといけないなと思います。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 林業を考える

記事

公開日: 2011/01/19 22:13

愛媛県林材業振興会議に行ってきました。

なんでも、“柱材プレゼント”のことが新聞に載ったそうで、問い合わせの電話対応に追われていました。

新聞効果はすごいです。

えひめ県産柱材プレゼントの募集

<http://www.kinosoudan.jp/present.html>

地域材の利用促進の取り組みが行われているところですが、林業は厳しい状況にあります。

農林水産省の調査によると、家族経営の林業経営体のうち、山林を20ha以上保有し施業を一定程度以上行っている林業経営体\*11経営体当たりの林業粗収益は、平成20(2008)年度には前年度より減少して178万4千円となった。一方、施業請負わせ料金や雇用労賃など林業経営に要した費用は前年からやや増加して168万1千円となり、この結果、林業粗収益から林業経営費を差し引いた林業所得は、前年度から約19万円減少して10万3千円となった(平成21年度林業白書より)

1年で103,000円の収入?!

(← X →)(← X →)フォルム

とにかく、木材の利用促進を行わないといけません、原木の価格自体が安すぎるということが大きな問題だと思います。

木材の価格は、外国材の価格との競争があるので、容易に値上げすることはできないようです。

ちなみに、原木価格を今の倍にしたらどうなるのか?そんな疑問が沸いてきました。

ということで、シミュレーションしてみました。

今の粗収益178万円が356万円になり、経費168万円を引くと所得が188万円です。まだまだ少ないですが、ギリギリの水準にはなりそうです(汗)

現状

杉

製材 70000円/m<sup>3</sup>

原木 12000円/m<sup>3</sup>

130m<sup>2</sup>(45坪)の住宅の場合、1戸当たり25m<sup>3</sup>木材を使用するとして計算すると、

住宅価格 45万円/坪\*45坪=2025万円

の内、製材価格 7万円\*25m<sup>3</sup>=175万円

(住宅価格にしめる製材価格の割合10%程度)

の内、原木価格 1.2万円\*25m<sup>3</sup>=30万円

(製材価格にしめる原木価格の割合20%程度)

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

となります。

仮に原木価格が2倍になったとしても、30万円のアップにしかありません。30万円のアップ程度なら、住宅の他の業種（工務店、大工、左官、屋根、基礎、電気、給排水、内装・・・）が一律2万円ずつ減額するとか、そうすることでなんとかかなりそうな気がします。

原木から製材になるまでの流通過程で、経費などが加算されていって12000円/m<sup>3</sup>が70000円/m<sup>3</sup>になるわけですが、そこにはたくさんの人たちが関わり、それぞれで生計を立てています。長年培われてきた産業として定着して、それが地域社会を作っています。合理化することは、必ずしも良いほうになるわけではなくて、過疎化や地場産業の衰退をまねくおそれがあります。

地域材の利用促進は、地域社会のことを考えた取り組みなので、地域でがんばっている人たちみんなのことを考えないといけません。

何かできないかとあれこれ考えますが、わたしが考えて答えが見つかるくらいなら、とっくに解決していますけど。

(ω・A) 7777

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■ 過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~

■ フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■ 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

記事

公開日: 2011/01/20 21:13



久万高原町にある、「久万高原 木と住まいの相談窓口」におじゃましてきました。

三坂峠を上り始めた途端、ひゅーっと寒くなっていくのを感じました。車の窓から見える景色も、みるみる雪景色に変わりました。

☺(+)ω+)肌寒い〜



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### GIS

#### 記事

公開日: 2011/01/21 21:03



今日も久万高原町にある、「久万高原 木と住まいの相談窓口」におじゃましてきました。

その後で、久万林業活性化センターで行われている、GIS(地理情報システム(GIS: Geographic Information System))を見せていただきました。すごく驚いたのと、今後の可能性の大きさを想像するとワクワクしました。

GISというのは、山林の地籍図(公図のように地番が載っている)と航空写真が重なった図面データがあって、山林の中のどの部分はだれが所有しているのかが表示されます。

所有者の情報の中には、山林内の木の種類(すぎ?ひのき?)や樹齢、量、手入れの状況などが細かく詰まっています。

そして、携帯型の道具(アイパッドみたいな感じ?)を現地に持って行って、通信でシステムにアクセスして今立っている場所周辺の所有者情報を呼び出して確認したりできます。

たとえば、樹齢50年の杉が何m3欲しいという注文があったとすれば、GISでどこの所有者からどれだけ入手できるという使い方ができます。

GISがあることで、新たな情報を付け足していけば、たとえばヤング率いくらかりの木がだれだれさんの山から入手できるとか、自分の家の柱はだれさんの山からとれた何年製の木ということがわかったりするようになる・・・かもしれません。

まだ、限られた範囲内の情報が管理されているだけなのと、情報の精度も高めていく必要があるそうですが、基本となるシステムが出来上がっているというだけでも驚きました。

山とか木を伐るというイメージからすると、すごくハイテクになっています。

その後、相談窓口の人と一緒に、大工さんの住宅現場にお邪魔して、雪景色を見ながら車で走り

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

ました。

雪の被害で、木々が折れているものがありました。

雪や風ので折れてしまった木は、もう商品として売れないそうです。無理な力が木の繊維にかかって、繊維が断絶しているからだそうです。

何十年も手入れしてきて、売れなくなるのはショックです。

しかも出費して折れた木を処分ないといけません・・・。

木を伐って、何本も車に積み込んでいるところも見ました。

狭くて急勾配の山道(ジャガー道)から運ばれていました。労力と手間と危険があります。

そんな苦労をしても、年間の原木収入だけではとても生活できない状況というのは・・・。

GISという、一方ではすごくハイテクになってきていて、一方では林業の現状があって、一方では木材が使われる住宅産業の現状があって、 $a(+E+a)$ 、 $a00(w);D|w$ どうしたらいいんだー)と思いながら、三坂峠を帰りました。

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ

私のブログの動画を観る方法

登録読者限定の記事について

サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■ 過去記事一式PDFダウンロード

ド

～ブログ記事をPDFにしました～

■ フォトギャラリー

～2006.5～2008.12の物件から選んだ写真です～

■ 久万の住宅

# 伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

## プロフィール



作者  
伊藤 正孝  
作者プロフィール

二級建築士事務所  
愛媛県松山市で活動中です  
E-Mail:  
m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る  
»プロフィール

## 記事カテゴリ

- »記事
- »キャンペーン
- »料金表
- »日記
- »TOP

## 過去の記事

- »2011年04月
- »2011年03月
- »2011年02月
- »2011年01月
- »2010年12月
- »2010年11月
- »2010年10月
- »2010年09月
- »2010年08月
- »2010年07月
- »2010年06月
- »2010年05月
- »2010年04月
- »2010年03月
- »2010年02月
- »2010年01月

## 記事

### “家”のあつかい

記事

公開日: 2011/01/22 22:05



110%Architectural design room

やっと直せました。(´-`)※ホリホリ  
ブログの中に張り付けてあったもので、昔作ったものですが、表現に誤りがあったので直しました。  
(v.v)※ホリホリ

自分は何者なのか考えた時期がありました。

設計士、建築士、建築家

建築家にはなりたくないとかつては思っていました。  
世の中で目にする(メディアに登場する)建築家のイメージ、“作品”をつくる人。

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

でも、よくよくいろんなことを知っていくうちに、自分の目標は建築家の道なのかと思うようになりました。(いつかだれかに呼んでいただけるような)

自分で自分のことを建築家と呼ぶな

と先生に言われ、ハッとしました。  
そして、愛媛県に松村正恒氏という建築家がいたことを知りました。  
建築家という言葉を知りました。

建築家を目指すけど、心の中で忘れないようにするだけで、決して自分では口にしない。自分を戒めるための言葉。設計士や建築士で満足していないか、もっともっと努力しないといけない、決して自分が建築家だなんて思っはけません。まだまだ未熟者です。いろんなことを学ばないとはいけません。だから“駆け出し”です。

私は、建築家と呼ばれるのが大変嫌いです。“家”というのは、その道の大家であり家元。私はそれに該当しない、ノギヘンのついた“稼”。稼をかせぐと読むからいけないのです。禾だけでも穀物を意味し、稼は穀物の種をまいて育てる、そのように解釈しております。稼は禾への10画、その隣に稽、稽とは考える、留まる、従って稽古とは、古きを尋ねる、長所を取り入れる、即ち伝統に新しい血をかよわせることを意味しております。単なる繰り返し稽古ではない如く、真似ることが建築稼の仕事でもありません。

(無級建築士自筆年譜 松村正恒 より)

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード  
~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー  
~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 郷土

#### 記事

公開日: 2011/01/22 22:34



愛媛県生涯学習センターで行われた、ふるさとの森林講座第2回 に参加してきました。日ごろお世話になっている方が講師を務められたので。(1月8日が第1回でした)

坂本龍馬脱藩の道の愛媛県側のルートにスポットをあてて、脱藩の道の紹介をしながら周辺の山林の様子や林業の話を通り交えた内容でした。

講師の方が実際に脱藩の道の要所に足を運んで、撮影した写真を見ながら話が進められて、楽しく聴くことができました。

昨年テレビ放送された龍馬伝のイメージと重ねながら、険しい脱藩の道を歩いていった龍馬の姿に思いを馳せました。

それよりも、愛媛県という土地柄というか、地域性というか、そういうものを感じながら、人は自然の中うまく共存していく方法を見つけながら生きてきたんだなということを感じることができました。

当時はそれほど文明や技術力も発達していませんから、自然の力の方が圧倒的に大きかったわけで、現代に比べれば自然の事を、より知らないと言いかけていいと思います。

神様を怒らせないように・・・という感じでしょうか。

現代は、神様の姿なんてほとんど忘れてしまっていますし、文明の力で人が我が物顔で自然を利用していますから。

自然の中に住まわせてもらっている、自然と一緒に生きている、そういうことをもうちょっと意識しないといけないなと思いました。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

記事

公開日: 2011/01/24 23:19

今日は、愛媛県林材業振興会議に行ってきました。  
これとって書く(書ける)内容が無いので、どうしましょう。

(o^-ω^-)ン……

打合せをしていて、杉と檜を比較して「杉よりは檜の方が強いから」という話をしている方々がいたので、それについて書くことにします。

木造の梁に杉を使うなんて。  
杉は弱いからベイマツでしょ。

そんな会話をよく聞きます。  
でも、ベイマツより強い杉もあります。  
杉でも十分梁に使えます。

杉が弱いと言われているのは、ばらつきが大きいから。  
JAS規格外の無等級材のベイマツと、JAS規格機械等級区分の杉を比較すると、杉の方が強い  
です。(梁の検討に必要な曲げとヤング率で比較)

基準強度

べいまつ(無等級)

Fc:22.2 Ft:17.7 Fb:28.2 Fs:2.4 E0:10000

すぎ(JAS・E110)

Fc:32.4 Ft:24.6 Fb:40.8 Fs:1.8 E0:10800

単位:N/mm<sup>2</sup>

Fc:圧縮 Ft:引張 Fb:曲げ Fs:せん断 E0:ヤング係数  
(木質構造設計規準・同解説より)

無等級の場合は、個体差が大きくなってばらつきが多い為、それだけ安全率をみる必要がある  
ので小さめの数値になる。

機械等級区分のように、品質を確認して選別することで、ばらつきを抑えることができるので、  
安全率が小さくなり、数値の精度が上がる。

比較するときは、何で比較するかが大事です。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 空

日記

公開日: 2011/01/25 21:36



今日の天気は、こんなにいい天気じゃなかったですが、  
気持ちはこんな感じでした。嬉しいことがありました。

でも、快晴じゃありません。

嬉しいけど、素直に喜べず、ちょっとモヤモヤとした気持ちがあって、それは不安な気持ちという  
か。何が起きるかわからないし、絶対ということもありません。(達磨不識を勉強したはずなのに、脳  
が心を邪魔しています。)

未来のことがわからないから不安になるし、自分の思い通りにならないから苦しくなる。でも、もし  
未来がわかったら、自分の思い通りになるとしたら、嬉しい気持ちも起きないでしょう。当たり前なん  
ですから。

だから結局は、しらん(先のことなんか、考えても仕方が無い)ということで、今を素直に喜んだら  
いいんです。

そんな私の目の前で、息子はきゅきゅきゅきゅと喜んで動き回っていました。

画像: SKYSEEKER.NET

<http://www.skyseeker.net/>

# 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

## プロフィール



作者  
伊藤 正孝

### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

## 記事カテゴリ

- [»記事](#)
- [»キャンペーン](#)
- [»料金表](#)
- [»日記](#)
- [»TOP](#)

## 過去の記事

- [»2011年04月](#)
- [»2011年03月](#)
- [»2011年02月](#)
- [»2011年01月](#)
- [»2010年12月](#)
- [»2010年11月](#)
- [»2010年10月](#)
- [»2010年09月](#)
- [»2010年08月](#)
- [»2010年07月](#)
- [»2010年06月](#)
- [»2010年05月](#)
- [»2010年04月](#)
- [»2010年03月](#)
- [»2010年02月](#)
- [»2010年01月](#)

## 記事

記事

公開日: 2011/01/26 20:53



今日は、愛媛県庁の農林水産部森林局に行ってきました。  
いかにも”お役所”という雰囲気です。

住宅をつくる時に考えないといけないこと。  
 考えていくと、それは木を育てている林業のことに関わってきます。  
 そして、住宅ができて、地域が無かったらどうなるのか。殺風景な大地にポツンと1軒の家…。  
 まあそんなことはないとしても、住宅だけの(住宅の建つ敷地だけに限定した範囲の)視点で考えていたのでは、本当にいい家づくりはできないと思うんです。  
 そして、自分達だけの時間で考えていてもだめで、子供の世代、その先の世代と続いていく先のことも考えないといけないと思います。  
 木のこと、木を育てる林業のこと、木が育つ山のこと、その山がある地域のこと、そこに住む人たちのこと、地域のこと、その未来のこと……家はそういうところに建てるんですから。



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝  
作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

- »記事
- »キャンペーン
- »料金表
- »日記
- »TOP

### 過去の記事

- »2011年04月
- »2011年03月
- »2011年02月
- »2011年01月
- »2010年12月
- »2010年11月
- »2010年10月
- »2010年09月
- »2010年08月
- »2010年07月
- »2010年06月
- »2010年05月
- »2010年04月
- »2010年03月
- »2010年02月
- »2010年01月

### 記事

#### プレカット訪問

記事

公開日: 2011/01/27 23:11



今日は松山空港の近くにある、製材プレカット会社のランベックス愛媛と愛媛プレカットを訪問してきました。

地域材の利用促進の活動として、木造住宅の梁や桁などの横架材の断面検討をするツールを開発中で、試作品の紹介と現場サイドの声を聞き取るのが目的です。

愛媛県で活躍されている木造建築の建築家の方と、木材協会の方に同行しました。

空港の側を通ったとき、ピカチュウの絵が描かれたジャンボジェット機が丁度飛び立つところでした。

(写真はちっちゃすぎて何かわからないでしょうけど・・・)

すごい迫力でした。

今度、妻と息子にも見せたいと思いました。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 木を見て山を見ず

記事

公開日: 2011/01/28 21:50

今日は、愛媛県製材の標準単価を決める会議に参加して、昨日プレカット会社で紹介した、木造住宅の横架材の断面検討ツールの紹介をしてきました。

会議の様子を聞きながら、木材産業の現場の声(問題点)に触れることができました。

設計者というのは、山側(林業)から一番遠い存在なんだというのを感じました。

林業-原木市場-製材業-プレカット会社-工務店-設計士-お客さん(の住宅)

林業の人は、先日の記事に書いたように、年間の原木を売っただけでの収入では、とても生活ができるようなものではありません。

木を使って家を建てているのに、その木を育てている林業の人の生活を見ていない、木が育っている山のことを見ていないというのは、どうなんだろうと思います。

木を見て森を見ず、木を見て山を見ず。

でも、自分に何かできるのかというと、そんな力はありません。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 森林と住まいを結ぶ

記事

公開日: 2011/01/29 00:00  
最終更新日: 2011/01/30 00:14



久万高原町の木と住まいの相談窓口が主催する、「森林と住まいを結ぶ木だわり塾」木と住まいの大相談会2011に参加してきました。

今年度最後の木だわり塾で、大相談会ということで、林業・製材業・木材協会・大工・工務店・設計士それぞれの相談コーナーが設けられ、お客さんが自由に相談できるというものでした。

- »2009年12月
- »2009年11月
- »2009年10月
- »2009年09月
- »2009年08月
- »2009年07月
- »2009年06月
- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月



催し物には、杉・檜・松の角材を持ってみて重さを体感できたり、大工さんが作ったプレカットではつくる事ができない“継手”実物品を触ったり、木材のヤング率簡易測定実験、木材のヤング率の違いによるたわみ量の実験をしたりと、盛りだくさんでした。

木を育てている林業家の方や、家を建てる大工さんの生の声・表情を知ることができ、また、ヤング率やたわみといった構造理論的なことを知ることができ、“両方”がそろっている内容の濃いイベントだったと思います。

長年の経験やカンだけでは、品質を考えたときには説得力がありませんが、理論的な話もでてる。逆に、理論的な話だけでは現実味がなくて深みを感じられませんが、職人さん達の努力や受け継がれてきた技術、培われた経験がどっしり説得力を持たせてくれます。

“両方”が必要だと思っていますが、それがイベントの中にはあったと思いました。

そして、家づくりで一番大切な“繋がり”ですが、来場されたお客さんの子供さんが、展示品や木の積み木で林業家の方と一緒に遊んでいました。木と人が繋がって、お客さんと家をつくる側が繋がって、親から子へ繋がっていく、一番繋がりを表現した場面を見ることができたので、いいイベントだったなと思いました。

■久万高原町の木と住まいの相談窓口  
<http://www.kinikodawari.net/>

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード  
 ~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー  
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### ラッキー

記事

公開日: 2011/01/29 00:00

最終更新日: 2011/01/30 00:08



今朝、県武道館で行われた“木だわり塾”に向う途中、ディズニーランドのバスに遭遇しました。テールランプがミッキーマウスの形になっています。

そして、マフラーまで。

このバスは、時々スーパーなどに現れるらしく、プチディズニーランドのように車内がなっていて、子供づれのお客さんたちでごった返してなかなか見ることができないらしいです。

ということで、ラッキーでした。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 裏づけ

記事

公開日: 2011/02/01 21:24

木造住宅の横架材の断面検討ツールの開発を進めているところですが、ツールは検討結果のみを表示するようになっていました。詳細な計算内容・結果の根拠は、表に出ないようにしてあります。

この詳細な計算内容の部分を見えるようにするかどうかで悩んでいます。

そんなとき、テレビのCMからこんな声が聞こえてきました。

「裏づけを、表に出してどうするんだ」

「えっ?!」

「我々が求めているのは結果なんだ」

ダイハツのCMでした。

なるほど〜(笑)

WEB限定ムービーはこちらで観れます。

ダイハツムーブスペシャルサイト「TMP27」

[http://move.daihatsu.co.jp/index.htm?ref=top\\_small](http://move.daihatsu.co.jp/index.htm?ref=top_small)

ダイハツムーブを宜しくお願いします。



# 伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

## プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

## 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

## 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

## 記事

記事

公開日: 2011/02/02 21:24



伯方の塩純正大福

松山自動車道 石鎚SA(下り)、高松自動車道 豊浜SA(上り)の2箇所では売っていないという。

今年に入ってから香川県に行く機会があり、そのときに初めて買って食べたたら、おいしいこと！  
+..+ (^v^)/ニ+

その大福が、なんと伊予灘サービスエリアでも売られているという情報をキャッチしました。  
松山インターから南予方面は高速道路無料ということもあり、ドライブがてら行ってみました。

E=E=E= r(o'w)~

伊予灘SA(下り)に到着。店の中を物色しても見当たらないので、店員さんに聞いてみると「あるのは上りですね。電話で在庫があるか確認してみますね」

とのこと。電話で確認していただいたら、残念ながら無いということでした。(TOT) エーン

伊予インターで降りて、再び乗って松山方面に帰りました。無料ですから(笑)

途中に、念のため伊予灘SA(上り)に寄ってみたんですけど、やっぱり大福はありませんでした。(店員さんには聞きませんでした;)

本当に伊予灘SA(上り)で売っているのか、さだかではありません。

とりあえず、夜景を見て帰りました。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 鬼は外

記事

公開日: 2011/02/03 20:59



節分です。家族で豆まきをしました。

私が鬼のお面を付けて登場すると、息子は怖がってくれました(笑)

豆をぶつけられて鬼は退散しました。ぶつけられていい気分です。家族みんなで元気に豆まきができるのが、なにより“福は内”の証拠です。

その後、南南東を向いて3人で恵方巻きを食べました。

豆を年の数だけ食べるのは、息子は1個なのに何個も食べていました(笑)



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 神頼みから設計へ

記事

公開日: 2011/02/04 21:24



伝統構法の仕様規定化に向けた取り組みが進んでいます。  
今の建築基準法では、土台は基礎にアンカーボルトで固定しないとイケません。一方、伝統構法は石場立てで石の上に柱や束が載っているだけです。

構造計算をする上では、足元がきちんと固定された状態で、建物の耐力を検討する方が楽です。足元が自由で、建物がどこに行ってしまうかわからないのでは、どれくらい建物自体に力が加わるのかを想定するのが難しいからです。

建物の固さ(壁の量・仕様、接合部の仕様・量、建物の規模、床の固さ、建物の高さ、木材の種類、大工さんの技量などなど)はいろいろな要素で変わります。建物の固さで動き方も変わるので、足元が固定されていないとどこに行くのかを予測するのはとても難しくなるはずですよ。

さらに、建物ばかりでなく地盤の固さもあります。

そんな不確定要素だらけでは、ほとんど大地震時は神頼み状態です。

でも、神頼みするわけにはいかず、“設計”するわけですから、ある前提条件の下でどうなるのかを予測して、計画を立てないといけません。

そういう意味で、在来構法の壁量計算・仕様規定は、とても手軽に建物の性能が計画できるわけです。

前置きがながくなりましたが、伝統構法の、足元を固定しない実大実験が行われ、その結果が公開されています。

足元を固定せず、壁量も建築基準法をり少なく、接合部は金物を使用しない。そんな建物が壊れませんでした。

木造の構造設計の進歩という意味で、とても期待しています。そして意匠設計者でも扱える簡易設計法、仕様規定化に期待しています。

■ケンプラッツ記事

石場立て倒壊せず「建基法の要求満たす」

<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110124/545347/>

- »2009年12月
- »2009年11月
- »2009年10月
- »2009年09月
- »2009年08月
- »2009年07月
- »2009年06月
- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

■伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会  
<http://www.green-arch.or.jp/dentoh/index.html>

ブログ内検索(b^-)

検索

### お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

### 記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード  
 ~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー  
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事

#### 軸組図を描く

記事

公開日: 2011/02/05 21:49

3ヶ月ほど前に、“住宅のユニット化について考えていて、サンプルとしてユニット組み合わせパターンによる間取りプランをいくつか作成中です”という記事を書きましたが、今度はそのユニットプランの梁伏図・軸組図と壁量計算をすることになりました。

在来構法のプレカット会社に依頼するような住宅では、軸組図なんて描かなくなりました。建築確認申請でも4号特例があるので軸組図は描きません。

でも、  
「木造軸組構法なのに、軸組図を描かないなんてそれで軸組構法と言えるのかい」と言われると、返す言葉もありません(´-`)とネリネリ

ということで、せっせと描くことにします。

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 固定金利or変動金利

記事

公開日: 2011/02/07 23:40

こんな記事を見つけました。

”メガバンクから消える「固定金利」格下げで増す住宅ローンの危険度”

<http://money.jp.msn.com/newsarticle.aspx?ac=DI20110206001&cc=04&nt=00>

家を建てる人の多くは、結婚して家族ができてからだと思います。30年ローンというと、0歳の子供が30歳になるんですから、子育て期間丸ごと、それ以上住宅ローン返済に縛られながら、家族も養っていかないといけません。

ものすごいことだと思います。

何があるかわからないことだらけですので、住宅ローンの金利はせめて固定金利にしておこうと思うんですが。

記事の中ほどに、

”住宅ローンの利用者の多くは、販売業者を経由してローンを組む。販売業者は当面の返済額を低く設定でき、より売りやすい変動型で販売する傾向が強い。利用者も目先の金利の低さから変動型に飛びついた格好だ。”

という文面。

●2010暦年住宅着工実績(国土交通省)

①住宅着工総数 81.3万戸(前年同期+3.1%)

②内訳

・持ち家 30.5万戸(前年同期+7.2%)

・分譲 20.2万戸(前年同期+19.6%)

(分譲内訳)

・マンション9.1万戸(前年同期+18.2%)

・一戸建10.4万戸(前年同期+20.9%)

●住宅着工予測(住宅・不動産市場研究会)

2011年度 83.6万戸

2012年度 83.4万戸

住宅着工数は、ちよつとだけ持ち直す予想。

数字が上がっている理由が、目先の思惑によるものだとしたら・・・。

# 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

## プロフィール



### 作者

伊藤 正孝

### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

## 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

## 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

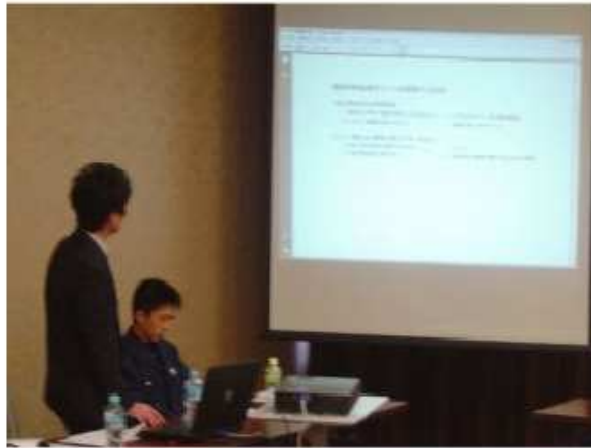
[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

## 記事

### 記事

公開日: 2011/02/08 21:32



愛媛県内のプレカット会社7社が集まって行われた会議に参加して、現在開発中の木造住宅の横架材の断面検討ツールの紹介をしてきました。

写真は、一緒に参加された木材協会の方に撮っていただきました。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 免震構造

記事

公開日: 2011/02/09 22:55

住宅の新築を計画する際に、免震構造を採用したいというお客さんがいらっしゃるということで、近々相談にのって欲しいという連絡をいただきました。

私は住宅は耐震構造で計画するので十分だと思っています。免震構造にするにしても上部構造の耐震計画は必要だし、免震装置の維持管理や給排水設備と建物の納まりなどを考えると、費用的な負担が大きくなると思うからです。

ということで、耐震構造・耐震設計の分野について勉強してきました。

でも、免震構造を採用したいとなったときに、どういう理論で考えら得ているのかと聞かれると、(「べ」)?となってしまいました。

基礎と建物の間にゴムとかボールベアリングなどの免震装置を設置して、建物に直接地震力が伝わらないようにするもの・・・くらいのことしかわからず、建築確認申請はどうする？構造計算はどうなる？上部構造の壁量は耐震設計時より少なくできる？構造計算方法は許容応力度計算？限界耐力計算？・・・実務でどうやって設計を進めていくのかがよくわからないことに気がつきました。

頭っから免震は無しとしてやってきていたので、わかっていないのは当然ですが、わからないとすっきりしません(笑)

(またわるい病気がでてきました。)

ということで、ジュンク堂へ行って免震構造の本を物色。やっぱり日本建築学会の免震構造設計指針かなあと思いましたが、6000円以上するので躊躇しました(笑)

自分で免震構造の構造計算をするわけじゃないのにこの本が必要なのかなあ。

とりあえず今日のところは退散しましたが、やっぱり気になります。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 印刷会社

##### 記事

公開日: 2011/02/10 21:20

現在開発中の木造住宅の横架材の断面検討ツールについて、マニュアルを冊子にして関係各所に配ることになり、印刷会社へマニュアルデータを持って打合せに行ってきました。

印刷会社にお邪魔したのが朝の9時過ぎです。

広いフロアーに、たくさんのパソコンが並んでいて、従業員の方達が忙しく仕事をしていました。まだ朝9時ですよ(汗)

マニュアル冊子の打合せをした担当の方も、朝から緊張感のある対応でした。みんなピリピリした感じですよ。

まだ朝9時ですよ(汗)

やっぱり、印刷会社というと、常に納期との戦いですから、こういう雰囲気なのも理解できます。昔設計事務所に勤めていたころを思い出しました。

私はもう無理ですね～(´▽｀;)泣き顔

# 伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

## プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

## 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

## 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

## 記事

### 非常事態発生!!

記事

公開日: 2011/02/11 22:10



w|:D|w スイオオオ!!

仕事用として使っているノートパソコンが起動しなくなりました。

セーフモードですら起動しません(汗)

というより、スキャンディスクが実行された後、固まっしまいどうにもなりません。(涙)

パソコンが無いと、本当に何もできません。

╰(´ー`)ノオオアゲー

現在開発中の木造住宅の横架材の断面検討ツールのデータも入っているのに、どうしよう・・・

(((;Д;)))カカカカカカカカカカカカカカカカカ



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 誰かのためにできること

記事

公開日: 2011/02/12 00:00

最終更新日: 2011/04/01 21:24



#### MOTHER TOUCH

戦場からのメッセージ

戦場カメラマン渡部陽一写真集

タツミムック

書店に並んでいました。思わず買ってしまいました。

写真集の中に書かれている文章を読むとき、なぜか渡部さんのあの独特なしゃべり口が頭の中に聞こえてきます。

渡部さんが見た景色、そのとき感じた思いが、カメラのレンズ越しに写した写真に投影されているように感じてしまいます。ぐっと胸を締め付けられます。

同じ地球上で、自分が生活している同じ時間に、こんな生活をしている人たちがいるということを感じかされます。

だからといって自分に何ができるのか、自分は今の生活を手放すことができるのか、とてもできません。

この本の購入費が、ちょっとでも役に立つなら、できるのはそんなことくらいです。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

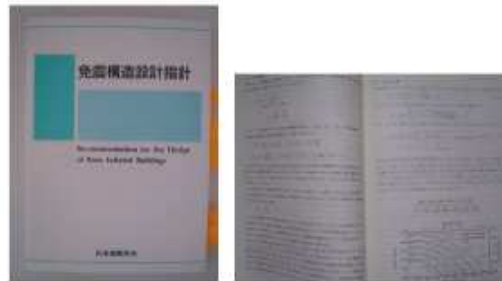
»2010年01月

### 記事

#### 免震構造2

記事

公開日: 2011/02/12 22:45



免震構造設計指針(日本建築学会)を購入して、読みました。

(免震構造設計指針(日本建築学会)抜粋)

#### ■基本計画

免震構造では、免震層に変形を集中させ、ほとんどの地震入力エネルギーを免震部材で吸収させるため、上部構造に地震入力エネルギーを吸収させる必要はない。

#### ■構造概要および設計方針

(2)地震力以外の荷重・外力に対する構造設計は通常の建物の場合に準じて行う。

(3)地震力に対する免震層ならびに上部構造の設計は、設計用地震入力下における建物の応答に基づいた各種の検討により行う。

(5)上部構造は設計用地震荷重下における応力に応じて許容応力度設計を行うことができる。

#### ■構造設計

免震構造は、免震層の剛性を上部層に比べて格段に小さくし、地震により投入されるエネルギーの総量(総入力エネルギーと呼ぶ)を免震層に集中させる構造であり、免震層の最大変形を抑制するためのエネルギー吸収機構としてダンパーが導入される。上部層への入力エネルギーは小さく、通常の構造物に要求される塑性的エネルギー吸収能力を発揮させるための種々の制約条件から解放される。

耐震設計の目標に照らして、ここで扱う免震構造は特殊なものではなく、むしろ通常の構造物に比べて、エネルギーを免震層に集中させるという意味で、エネルギー分布予測にまつわる不確実性から免れるという意味で明快な構造携帯であるといえる。

第1層に集中したエネルギーをいかなる形で構造要素に吸収させるかについては次のような方法が存在する。

- 1) 構造要素の弾性ひずみエネルギーとして吸収させる
- 2) 構造要素の塑性ひずみエネルギーとして吸収させる
- 3) 構造要素の粘性減衰エネルギーとして吸収させる

免震構造においては、アイソレータが1)の役割を担い、ダンパーが2)ないし3)の役割を担う。免震構造においては、弾性ひずみエネルギー吸収能力に富むアイソレータの存在により構造物が緩や

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

かな単弦的振動を繰り返す間に、アイソレータに比べて剛性の高いダンパーが有効にエネルギーを吸収し、変形が抑制される。

#### ■免震構造の周期

$$T_f = 2\pi\sqrt{M/K_f}$$

M: 建物総重量 K<sub>f</sub>: アイソレータ(ゴム)の剛性 K<sub>f</sub> T<sub>f</sub>: 免震建物の周期

#### ■ダンパーの設計条件

$$W_p \geq E$$

W<sub>p</sub>: ダンパーの消費エネルギー E: 地震による入力エネルギー

#### ■ダンパーの消費エネルギー

$$W_p = a_s \cdot M \cdot g \cdot \delta_p$$

a<sub>s</sub>: ダンパーの降伏せん断力係数 g: 重力加速度

-----  
(感想)

許容応力度設計の際の標準層せん断力係数は0.2になっていて、免震構造のダンパーの降伏せん断力係数は0.03~0.05ということで、ほとんど摩擦が無いものとして考えられている様子。

当初は、免震構造といえども、地震が発生した瞬間の加速度が建築物に作用した際には、上部構造にも地震力が加わるので、ある程度の剛性が無いといけないと思っていました。剛性が無かったら、ちょっとでも揺れた瞬間に変形して倒壊してしまうからです。

でも、免震構造の考えは、地震力はすべて免震部材(ゴム+ダンパー)に作用すると考えていて、地震が発生した瞬間の加速度もすでに免震部材に作用して減衰・消費されるので、上部構造には地震力は作用しないということです。

免震構造の周期の式より、免震構造の建物の周期は、アイソレータ(ゴム)の剛性しか考えてなくて、建物の剛性は関係なく、重量さえアイソレータに作用していればいいということのようですので、建物には地震力はかからないという考え方はこの式でもわかります。

そして、ダンパーの設計条件の式から、地震エネルギーはすべてダンパーで負担していることがわかり、建物には地震力がかからないという考え方がこの式でもわかります。

ただし、地震力についてだけ免震部材で処理するので、風圧力(台風)は通常の構造計算によらないといけないということです。

木造住宅の場合は、地震力よりも風圧力で必要壁量が決まる場合があるので、免震構造にするとしても壁量は耐震構造と同じように必要だと思います。免震構造はプラスアルファの安全装置的な考えに住宅の場合はなりそうです。

耐震構造の場合は、各耐震要素(耐力壁、接合部、構造部材)が地震力を負担し、許容応力度内に納まっているかを確認します。耐震要素は建物内にちらばって配置されているのと、カ所数もたくさんあるので、厳密な性能を確認するのが大変です。

免震構造の場合は、免震部材だけで地震力を負担するので、カ所数が絞られて性能を確認するのが楽です。

ただ、性能を確認する計算方法は、耐震構造の許容応力度計算に比べて免震構造は時刻歴応答計算になり、高度な知識とパソコンが必要になります。

免震構造、なんとなくわかったようなわからないような・・・、まあ、ちょっと読んだくらいでわかるはずなんですけど(笑)

最後に、免震構造設計指針の最初に、こんなまえがきがあります。

”本指針は基本的に重要な事項を述べることで、および設計に当たって判断を行う際に必要となる多くの有益な資料を示すことに重点をおいてまとめた。

本指針では、これらの情報をもとに設計者の判断を多く求めていると同時に、この判断により建築物の質が変わることを指摘している。重要な判断を自らの責任で下せないときは、設計をすべきではないと考えるべきであろう。”

ブログ内検索(b̄)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード
- ~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー
- ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### バレンタインデー

記事

公開日: 2011/02/14 21:39



今日はバレンタインデーということで、息子にアンパンマンの車のデザインされた缶に入ったチョコレート詰め合わせがプレゼントされました。かわいい缶かんです。私もチョコレートを貰いました。

ところで、今日は私は腕や足腰が筋肉痛です。

昨日はいい天気だったので、息子を連れて近所の公園に遊びにいきました。

手を握って歩くと、一緒に歩くようになりました。まだ一人では歩けないですが、サポートがあればどんどん歩きます。

そんな息子の手を握って、一緒に家から公園まで歩いて、途中で抱っこしてそのまま走ったり、公園では滑り台を一緒にすべったりしました。

ということで、今日は筋肉痛な訳です。

誰かのために頑張ること、その原点的なことが子供のためにすることだと思えます。

子供の為だったら、自分に何か得になることがあるかんてことは一切考えたりしません。心から子供のために何かをしたいと思えます。喜ぶしぐさを見られるだけで、他には何もありません。それが本当の“誰かのために”だと思えます。

仕事はお客さんのために頑張りますし、地域のためとか社会のためといって活動を行うこともあります。でもそれがどこまで心からできているのか。どこかで自分に得になることがあるからやっているというのがあると思えます。仕事だって収入を得るためですから。

自分の得を考えるのは、奇麗事じゃなくだれでもあることだと思えますが、自分の得を限りなく考えないようにできることも必要なときがあるはずですが。

»2009年12月  
»2009年11月  
»2009年10月  
»2009年09月  
»2009年08月  
»2009年07月  
»2009年06月  
»2009年05月  
»2009年04月  
»2009年03月  
»2009年02月  
»2009年01月  
»2008年12月  
»2008年11月  
»2008年10月  
»2008年09月  
»2008年08月  
»2008年07月  
»2008年06月  
»2008年05月  
»2008年04月  
»2008年03月  
»2008年02月  
»2008年01月  
»2007年12月  
»2007年11月  
»2007年10月  
»2007年09月  
»2007年08月  
»2007年07月  
»2007年06月  
»2007年05月  
»2007年04月  
»2007年03月  
»2007年02月  
»2007年01月  
»2006年12月  
»2006年11月  
»2006年10月  
»2006年09月  
»2006年08月  
»2006年07月  
»2006年06月

そんなとき、子供のために頑張っている自分を振り返ると、自分の得なんか考えずにやっている自分がいて、「ああ、これなんだな」と誰かの為にすることの原点的な気持ちに気づくことができました。

そして、自分の得は関係なく頑張ったことが、子供の成長という形で見えてくる。仕事とか地域の為の活動とかも、今は努力したことが見えなくても、何十年か先に見えるかもしれません。

筋肉痛なのが嬉しかったりします(笑)

そして今日はバレンタインデー。愛情がチョコレートの形になって貰える日です。チョコレートにならなくても伝わってます。

(^-)

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
私のブログの動画を観る方法  
登録読者限定の記事について  
サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■ 過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~

■ フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■ 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### お遣い

記事

公開日: 2011/02/15 21:29



スーパーマーケットの駐車場で空を見上げたら、きれいな月が浮かんでいました。

妻に代わって、食材の買い物に行きました。書いてもらったメモを見ながら。豚肉でも、こま切れとかバラとか種類があるんですねえ(´0´\*) 陳列棚に並んでいる豚肉を見ながら、ラベルに書いている文字を確認して、じゃないとこま切れ肉がどれかわかりません(笑)しかも値段も高くないやつを選んで。主婦はすごいですねえ(と関心します。)

仕事はあれこれやらないといけないことがあり、Eメールが送られてきて対応しないとイケなかったりで、頭の中はこんがらがっています。

バッドリダー つととりあえず置いておいて、家事の手伝いをすると、なんだかオーバーヒートぎみだった頭が冷却されたような気がしました。

そして空を見上げたら、きれいな月が目映ったわけです。

いいですねえ。

子供と一緒に遊んで、妻の家事を手伝って、家族の暮らしを実感します。そんな家族を養う為に仕事をしています。仕事は家族の為にしています。仕事の為に家族をほったらかしにするのは、本末転倒だと思います。いい仕事ができるのも家族があるからだだと思います。

あ！またEメールが来ている オトコ(´・`・)ノ

## 伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝

### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

- »記事
- »キャンペーン
- »料金表
- »日記
- »TOP

### 過去のの記事

- »2011年04月
- »2011年03月
- »2011年02月
- »2011年01月
- »2010年12月
- »2010年11月
- »2010年10月
- »2010年09月
- »2010年08月
- »2010年07月
- »2010年06月
- »2010年05月
- »2010年04月
- »2010年03月
- »2010年02月
- »2010年01月

### 記事

## 春の気配

記事

公開日: 2011/02/16 21:39



今日は、朝から出かけないといけなかったのですが、昨夜の雨と冷え込みのせいで、車のガラスが凍っていました。

あわててお湯を持ってきて、フロントガラスの氷を溶かして出勤。(こんなことをするのは久しぶりで、朝一番から車で出かけることなんて最近なかったので(笑))

しかし出勤直後、フロントガラスがぬれていた為、それがまた凍ってあっという間に前が見えなくなっていました。オートワiperを動かしても滑るだけで、全然見えません。

しばらくあたふたしながら、ヒーターで溶けるのを待つて事なきを得ました。そんな朝でしたが、10時くらいになると陽射しが暖かくて、爽やかないい天気になりました。

仕事で訪問していた建物の外に出ると、清しさに思わず空を見上げていました。ちょっとずつ、春が近づいている感じがします。

暖かくなったら仕事にもエンジンがかかるんですが、今は冬眠中です。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 4号建築物でも許容応力度計算

記事

公開日: 2011/02/17 22:13



今日の午前中は、建築士事務所協会に現在開発中の木造住宅の横架材の断面検討ツールの説明に行ってきました。

午後からは、武道館で行われた“木造2階建住宅の構造計算”の講習会を受講してきました。

定員100人で、構造設計をしている人というよりも、工務店や大工さんといった感じの人がたくさん来ていました。こんなに木造住宅の構造計算に興味がある人がたくさんいるんだと驚きました。現在の法制度の下では、木造2階建てで500㎡以下の場合、構造計算は不要です。仕様規定と壁量計算でいいですから、“木造2階建住宅の構造計算”という今回のテーマは、自己啓発的な意味合いが強いです。

自己啓発で来ているのか、それとも世の中の流れを感じて情報収集に来ているのか、どっちなのでしょう？

講習会の内容は、昨年行われた木造住宅の構造とは打って変わって、かなりレベルアップしたものだと思いました。(参考に前回と今回のテキストの中身画像をUPしました。左が昨年で右が今回です)

そんな矢先に、日刊木材新聞の2月8日号を目にすると、こんな見出しが飛び込んできました。“公共建築物の木造は、4号建築物でも許容応力度計算”

木造計画・設計基準検討会(国土交通省官庁営繕部)で、木造の公共建築物の基準づくりが進められているそうです。

昨年施行された公共建築物木材利用促進法の絡みです。

4号建築物というのは、木造2階建て以下500㎡以下の建物で、仕様規定+壁量計算でOKで、構造計算(許容応力度計算)は不要です。

そんな4号建築物でも、公共の建物の場合は構造計算が必要になるということです。今日の講習会はその流れが関係しているのか、今日参加していた人達は、その流れを感じているのか、そして木造住宅の建築数は先細りですから、公共建築物にシフトしていくこととなります。



»2009年12月  
»2009年11月  
»2009年10月  
»2009年09月  
»2009年08月  
»2009年07月  
»2009年06月  
»2009年05月  
»2009年04月  
»2009年03月  
»2009年02月  
»2009年01月  
»2008年12月  
»2008年11月  
»2008年10月  
»2008年09月  
»2008年08月  
»2008年07月  
»2008年06月  
»2008年05月  
»2008年04月  
»2008年03月  
»2008年02月  
»2008年01月  
»2007年12月  
»2007年11月  
»2007年10月  
»2007年09月  
»2007年08月  
»2007年07月  
»2007年06月  
»2007年05月  
»2007年04月  
»2007年03月  
»2007年02月  
»2007年01月  
»2006年12月  
»2006年11月  
»2006年10月  
»2006年09月  
»2006年08月  
»2006年07月  
»2006年06月

木造の世界に大きな流れを感じます。どういう方向に向っていかようとしているのか。  
いい住まいをつくりたいと思って頑張っているところですが、こここのところの世の中の動きには、な  
んともいえない不安を感じます。

#### ■参考

木造計画・設計基準検討会(国土交通省官庁営繕部)のHP  
[http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild\\_fr4\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_fr4_000003.html)  
第5回の議事次第に、基準案  
[http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild\\_fr4\\_000009.html](http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_fr4_000009.html)

ブログ内検索(b^-)

#### お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
私のブログの動画を観る方法  
登録読者限定の記事について  
サイトポリシー

#### 記事ピックアップ

■過去記事一式PDFダウンロード  
~ブログ記事をPDFにしました~  
■フォトギャラリー  
~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~  
■久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 謝罪

日記

公開日: 2011/02/18 22:24

本日、見ず知らずの方に怪我を負わせてしまいました。被害者の方には、ただただお詫びする以外ありません。

責任の重さを痛感し反省しています。それと何より、怪我が早く良くなる事を願っています。本当に申し訳ありませんでした。

いろいろな方にも、ご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心からお詫び申し上げます。

文章が下手で申し訳ありません。

人を幸せにできればと思って住宅設計の仕事をしているはずが、人を傷つけることをしてしまったことに、弁解の余地もありません。

ブログは、しばらくの間自粛致します。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 反省の日々

記事

公開日: 2011/03/03 23:18

2月19日

事故から一夜明けました。

被害者の方への対応は、保険会社に任せることになりました。きちんとした対応や金銭的なことでも、とても個人ではできませんので、保険会社が代理としておこなってくれるのはとても有難いことだと感じています。精神的にも、誰かに頼ることができるというのは全然違うと実感しています。

ですが、保険会社に任せて自分の責任が無くなったというのは全く違うことなので、それを忘れてはいけません。保険会社に相談しながら、被害者の方へのお詫びに伺わなければいけないと思っています。

事故のことを知った父親が、心配して被害者の方へお詫びにいく為の粗品を持ってきてくれました。父親にも心配をかけて、申し訳ないと思っています。

被害者の方へのお詫びは、一刻も早くと思っていますが、まだ伺っていません。というのも、二つの理由があります。

ひとつは、被害者の方への対応は保険会社にお任せしているからです。

もうひとつは、被害者の方の気持ちもあるからです。

お詫びに伺うというのはこちらの一方的な気持ちで、被害者の方はもしかすると迷惑かもしれないと思うからです。事故直後で、精神的にもショックを受けられているでしょうし、そんなときに加害者から再々連絡があるというのは、事故のことを思い出したり気苦労があったり、ストレスになるかもしれないと思うと、少し時間を置いたほうがいいのかと思います。そのあたりを、保険会社と相談しながら行動した方がいいと思います。

昔、母が同じように事故の被害者になったことがありました。怪我の回復よりも、心のケアの方がとても時間がかかりました。その記憶とこの度の事故が重なっています。

法的な処分は、しかるべき機関の決定に全てお任せして、それに従うのみと思っています。

被害者の方への対応は保険会社にお任せしています。

自分ができるのは、被害者の方の怪我が一刻も早く良くなることを願うことです。そして反省の日々をおくることです。

頭の中には先に書いたようなことで満杯になっていて、堂々巡りをしています。そんな状況で、静かな朝をむかえました。仕事もしないといけません、頭の中は仕事のことを行えるスペースは残っていません。でも、いつまでも仕事を放棄するわけにもいきません。家族にも心配をかけるわけにはいきません。

子供と公園に散歩に行きました。

このごろ、子供は「きやもん」と言います。きやもんがどういう意味なのかわかりません。子供が「きやもん」とニコニコしながらしゃべると、心がすっと軽くなります。自然に笑みがこぼれます。

私はこうしていろんな人に助けられています、被害者の方やそのご家族は、私のせいで暗い気持ちにさせてしまっていると思うと、また反省の気持ちでいっぱいです。

でも、来週からは仕事をしないといけないと思いますので、気持ちを整理しないといけないと思います。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 責任

記事

公開日: 2011/03/03 23:12



2月20日

確定申告を提出しに、松山税務署に行ってきました。

日曜日ですが臨時で受付をしていました。

たくさんの方が列をなしていました。

松山税務署の近所の城山公園(堀の内公園)では、松山市消防出初式が行われていました。

初めて見ましたが、救助演技などは緊張感がありました。

消防隊員や消防団の方々のおかげで、災害時の人命が救われます。二次災害の防止にも大きく関わります。日々精進されてしかるべき活動の際に最大限の働きができるようにされている姿には、頭が下がります。

消防退院や消防団の方々の活躍というのは、災害が起こった後のことで、災害発生直後(発生中)には、人命を守るのは建築物の役割です。建築物は、人命を守るものにも奪うものにもなります。そんな建築物の設計に携わるということは、人命に関わる仕事をしているんだということ、出初式を見ながら身が引き締まる思いでした。

耐震性と防・耐火性は、意匠以前に建物に必要な基本的事項です。やはりこの知識向上というのは、日々努力しないといけないと思いました。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝  
作者プロフィール

二級建築士事務所  
愛媛県松山市で活動中です  
E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

- »記事
- »キャンペーン
- »料金表
- »日記
- »TOP

### 過去の記事

- »2011年04月
- »2011年03月
- »2011年02月
- »2011年01月
- »2010年12月
- »2010年11月
- »2010年10月
- »2010年09月
- »2010年08月
- »2010年07月
- »2010年06月
- »2010年05月
- »2010年04月
- »2010年03月
- »2010年02月
- »2010年01月

### 記事

#### 新聞に載る

記事

公開日: 2011/03/03 22:59



2月21日

現在開発中の木造住宅の横架材の断面検討ツールのことが、日刊木材新聞2月17日号の1面に掲載されました。

ついに全国に情報発信です。一気に動き出した気がして、ドキドキします。

そんな中、今日は愛媛建築住宅センターと日本ERI松山支店にツールの説明に行ってきました。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 記事

公開日: 2011/03/03 22:50



2月22日

松山東警察署に行ってきました。

電話連絡をとということでしたが、直接行ってきました。

自分がしてしまったこと、責任の重大さ、そういうことがここに来るとずしっと押し掛かってくるようです。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 東京

#### 記事

公開日: 2011/03/03 22:48



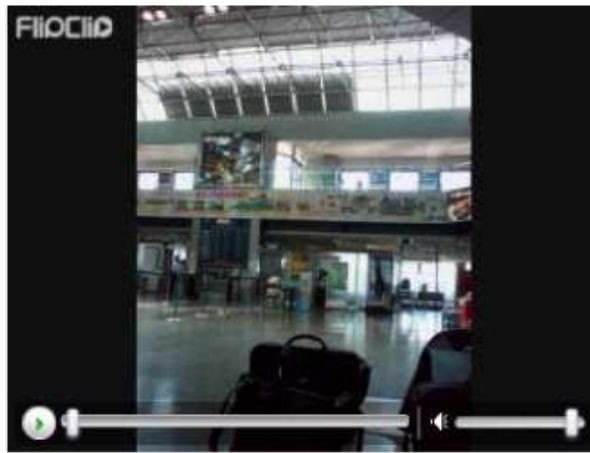
2月22日、23日

久万高原町で木造軸組工法用耐力壁の認定取得を目指した取り組みが行われているところで

す。  
認定の申請手続きを(財)建材試験センターにお願いしているのですが、申請手続きについての打ち合わせを行うことになり、打合せに同席してほしいとの連絡があり、一緒に行くことになりました。(財)建材試験センターは、埼玉県にあります。

ということで、飛行機に乗って行ってきました。

- »2009年12月
- »2009年11月
- »2009年10月
- »2009年09月
- »2009年08月
- »2009年07月
- »2009年06月
- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月



急きょ先日行くことが決まって、今日PM1:15の飛行機で東京の羽田空港までGO！飛行機に乗るのなんて10年以上ご無沙汰で、しかも以前乗ったときは旅行会社の人が全部してくれたので、ただついていだけでした。どうやって飛行機に乗るのかもわかりません(^-)^。  
久万高原町の担当の方(木だわり塾の人)に全てお任せして、やっぱり今回もついていだけでした(笑)

1時間15分程で松山から羽田に到着。  
そこから埼玉まで1時間の旅路です。  
電車を乗り継いで、東京の街を眺めながら、ひとごみをかきわけながら、建材試験センターに到着したのがPM4:30。  
それから2時間ほど建材試験センターの方と打合せをしました。

そのあと、今度は構造設計をされている構造家の方の事務所を訪問しました。事務所は東京都渋谷区代々木にあります。

構造家の方は私と同い年。でも、木造建築では最先端にいる方で、ティンバライズにも関わっています。

そして、木造建築の防火についての最先端にいる方にもお会いしました。  
木構造の構造設計と防火設計の最先端の方にお会いする機会があるなんて。  
事務所の中は、想像と違ってすごくスッキリしていました。

想像では、大型のパソコンがあって計算したり、書籍も難しそうなのがたっくさん並んでいて、物件ファイルが棚にびっしり・・・というものでしたが、実際はおパソコンも普通サイズで、書籍もそうでもなく、私の仕事スペースと同じような感じがしました。(同じじゃないですけどね。)

参考までに、構造解析しているパソコン情報を見せていただきました。それはやっぱり凄いです。このソフトが使えるというのが、すでに違う次元にいる方だなという印象です。解析というのがどんなふうに行われているのかも知ることができました。

防火の方には、本を売っていただきました。木造住宅の防火設計の最先端情報が詰まった一冊です。

到着して打合せが終わったのが、PM9:00過ぎでした。  
そのあと構造家と一緒に食事をして、ホテルに入ったのがAM0:00頃でした。  
まさに怒涛の一日です。

次の日、AM7:30にホテルを出て、少しだけ東京見物をしました。  
泊まったホテルのすぐそばに、東京都庁がありました。  
そしてそこからちょっと歩くと、モード学園コクーンタワーがありました。  
ちょうど出勤の時間帯で、たくさんの方の波の中を移動。電車の出勤ラッシュも経験。  
移動して東京スカイツリーを見に行きましたが、あまり近くまではいけませんでした。それでもその大きさに驚きです。

PM3:00から松山で横架材断面算定ツールの説明をしないといけないので、AM10:45羽田発の飛行機に乗らないといけませんでした。

東京見物はちょっとで終了しましたが、東京を肌で感じることができました。  
私は住むのは無理だ！と思いました。(^-)^

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
私のブログの動画を観る方法  
登録読者限定の記事について  
サイトポリシー

## 記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード  
~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー  
~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事

#### 目にとまったものあれこれ

記事

公開日: 2011/03/03 22:30



2月24日

梅の花が咲きはじめていました。春がやってきました。

家具屋さんの前を通りかかったとき、木で作った子供用のバイクが目にとまりました。値段を見てみると4万円オーバー。子供に買ってあげたいなと思ったり、私が欲しかったり(笑)

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

# 伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

## プロフィール



作者  
伊藤 正孝  
作者プロフィール

二級建築士事務所  
愛媛県松山市で活動中です  
E-Mail:  
m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る  
»プロフィール

## 記事カテゴリ

- »記事
- »キャンペーン
- »料金表
- »日記
- »TOP

## 過去の記事

- »2011年04月
- »2011年03月
- »2011年02月
- »2011年01月
- »2010年12月
- »2010年11月
- »2010年10月
- »2010年09月
- »2010年08月
- »2010年07月
- »2010年06月
- »2010年05月
- »2010年04月
- »2010年03月
- »2010年02月
- »2010年01月

## 記事

### 新聞に載る2

記事

公開日: 2011/03/03 22:40



2月24日

愛媛県の経済情報誌“愛媛経済レポート”にも、現在開発中の木造軸組工法住宅の横架材断面算定ツールの記事が掲載されました。

情報がおおやけに出て、一気に動き出した感じがします。  
本当に実用されるのか、不安と期待がいっぱいです。

一般配布する前に、関係各所に伺ってツールの紹介説明と意見の聞き取りを行っています。これからどんな意見が出てくるのか(汗)  
(私は構造設計じゃなく意匠設計が本来だし、数字は大嫌いなので、まさかこんなことをすることになるなんて・・・構造設計の方に内容を評価されるので、オオカミの群れに囲まれたウサギのような心地です(;-)X(-)X(-)X(-)Jアルフ)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 東京と愛媛

記事

公開日: 2011/03/03 22:38



2月24日

東京を1日だけですが肌で感じて、住宅について考えることができました。

街の大きさ、建物の大きさ、人の数、すべてが松山とはケタ違いで、超高層ビル群の中にいると戸建住宅があまりに小さく感じました。これだけ大量に全てがあふれている中では、住宅も大量生産で品質が確保されればいい”箱”としての機能があればいいと考えてしまうのは、当然のことかなと感じます。

超高層ビルに対して小さな戸建住宅の、耐震がどうのこうのとか耐力壁がどうのこうのとか、一生懸命考えていても、どれだけ精度を高めようと思ったところで五十歩百歩だなと。

それよりは、超高層ビルの精度を考える方が、効果が大きいのかなと。

法律についても、木造住宅の耐震設計は壁量計算で十分、耐力壁の数が満たされていればよしとする考えになっていますが、構造計算をして精度を高めたところで戸建住宅の規模。超高層ビルの谷間にあるおまけのようなものなら、構造計算しなくて壁量計算でいいと考えてしまいます。

法律をつくっている日本の中心部にいる人たちが、こういう超高層ビル群で生活しているんですから、そういう法律になっても当然なのかなと思いました。

朝の通勤ラッシュは、人が大量に流れていきます。誰が誰なのかなんてわかりません。”人”としての認識で、”個人”として認識できない。

それは孤独感を感じる原因なのかなと感じました。

自分というものがそこに存在していることが、大勢の中に飲み込まれてしまっていて、かき消されてしまうような感覚です。もし、次の日同じ電車に乗っていても気付かれない。

住宅についても、人についても、大量の中に埋もれてしまっているような感覚を受けました。

そして、人の生活速度が速いです。電車は早い速度で走っていて、何便も途切れることなくやってくる。電車の窓からはあちこちで工事の様子が見えます。ビルの谷間では、常に新陳代謝が起っています。夜は遅くまで電車があり、街は明かりがいつまで灯っています。

次の日になったら、また大勢の人の流れに飲み込まれて通勤ラッシュです。自分のペースで歩けず、流れに合わせて歩きます。

そんなひとごみの中で、幼稚園の服を着た子供が、大人たちの足元に埋もれてうつむいて立って

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

います。子供も小さいときから、大人たちの時間の中に飲み込まれて生活しています。そして大人になっていっていく。

松山、愛媛の時間の流れは、明らかに東京とは違うことを実感しました。そしてそれが風土というものになっていくのかなど。

松山も、在来工法の住宅があふれて、古い町並みや建物は無くなっていっています。地域性、風土というのは無くなっている気がしましたが、東京に行ってみるとまだまだ愛媛には地域性がしっかりとあることを実感できました。

住宅づくりの考え方、住宅にとって大切なものを考えるとき、やはり地域ごとに考えないといけないんだなと思います。

愛媛のものを東京に持ち込むことはできないんだなと。

愛媛に居るからこそ考えることができる、住宅は人が成長する、暮らしていく原点の存在なら、一番大切にしないといけないし考えないといけないものだと思います。

愛媛で暮らしているから感じられること、やらないといけないこと、それを大切にしないといけないなと思いました。

そんなことを考えているとき、本屋さんへ行くと”住宅建築”にこんな記事が書かれていました。

”徹底的に東京を批判する”

そしてその後、愛媛県西予市明浜町の集落の話が書かれていました。

記事内容が私が考えていたことと同じかという、そうではありませんが、東京と愛媛のことがこれだけタイムリーに扱われていたのには驚きました。

生きつづけている場所で

生きる為に大切なことは何なのか、住宅に大切なのは何なのか。  
 そういうことを考えないとけません。

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■ 過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~

■ フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■ 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 荒波

#### 記事

公開日: 2011/03/03 22:21

2月25日

“大臣認定違反、国交相が制度運用の不備認める”

こんな記事がケンプラッツのホームページに出ていました。

<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110222/545953/>

不燃材、高強度コンクリート、エレベーター、アルミ樹脂複合サッシと、次々に大臣認定した性能に対して実際に販売流通している商品の性能が劣っているという事態が起こっていますが、馬淵前国土交通大臣から交代した大畠大臣は、防火戸使用のアルミ樹脂複合サッシにかかわる大臣認定の運用に不備があったことを認めたということです。

今後、大臣認定の取得手続きが厳しくなることが想像できます。

耐力壁については話題に上がりませんが、耐力壁の大臣認定申請手続きも、昨年から審査が厳しくなっています。

そんな中で、久万高原町の耐力壁認定取得の取り組みが進められているわけですが・・・。

今日は、昨日埼玉県(財)建材試験センターに行って打ち合わせした内容に基づいて、申請図書の作成をしました。

しばらくは、CADとにらめっこです。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 向き合う

記事

公開日: 2011/03/03 22:19

2月26日

2月18日の謝罪文を見られた方から、問い合わせの電話をいただきました。

余計なご心配をおかけして、申し訳ありません。

問い合わせの中で、謝罪文の書き方に関して「あの文章だと、交通事故なのか設計した建物で事故があったのかがわからないから、誤解を招くよ。交通事故だったらそうと書かない」というご意見をいただきました。

見ず知らずの方に怪我をさせてしまったのは、交通事故によるものです。

ですが、交通事故でも設計によるものでも、怪我をさせてしまったことに変わりはありません。

設計業界で以前こんな事件がありました。

屋外の手摺が設計ミスで外れてしまって、妊婦の方が転落して怪我をしたというものです。

設計というのは図面で表現するだけで、直接物を造ったりすることはありませんから、何かが起こったときの責任の感じ方がずれてしまうのかもしれませんが。絵で紙の上に描くということですから、紙と同じように薄っぺらく感じるのかもしれませんが。でも、物をつくるということでは同じはずです。いえ、つくるものの基本を考えるとということでは、責任は重いかもしれません。かといって、実際に責任を金銭面で応えようとする、設計費と施工費では施工費の方が多くて資本力も大きく違いますから、責任の重さと対価が見合っていないのが現実です。

話がずれてしまいましたが、設計するというのはいずれも責任を感じながら行わないといけないと思っています。

そして、建築をするということは生き方そのものに通じてくるとしています。

そういう中で、設計ではなかったにしても自分が誰かに怪我をさせてしまったことは、きちんと向き合わないといけないと思っています。

あの謝罪文を見た方が、設計を依頼するのをやめて業務上マイナスになる。設計を任せられるというのは、人間関係のお付き合いが始まるということですから、交通事故だから・・・ということで分けるつもりはありません。

ご理解いただければと思います。

## 伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

## プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

## 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

## 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

## 記事

## 原稿

## 記事

公開日: 2011/03/03 22:15



2010年度	
月	内容
12月	12月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
11月	11月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
10月	10月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
9月	9月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
8月	8月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
7月	7月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
6月	6月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
5月	5月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
4月	4月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
3月	3月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
2月	2月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会
1月	1月10日(木) 東京・有明コロシアム 発表会

2月28日

現在、木造住宅の横架材断面検討ツールを開発中ですが、その事業の発表に行くことになり、発表内容の原稿を作成中です。

発表会場は、東京です。(また東京に行くんですかーL(□)J)

観客は250人です。(そんな大勢の前で発表するんですかーw|;□|w)

発表時間は12分(事業全体で。ツール開発は、事業の中の一部)のうちの5分が、私の担当です。

5分って、普段は短い時間ですが、発表となると永遠のように感じられます(汗)

実は私、トラウマがあって・・・

小学校の5年生のとき、生徒会(児童会といっていた)の会長選挙にクラスから選ばれて、全校生徒前で選挙演説をしましたが、緊張して頭が真っ白になり、覚えていた演説内容がふっとんでしまいました。そのときのことがトラウマになっていて、10人以上の前で話すとき舞い上がってしまうんです。

250人・・・、いったいどうなるんでしょう(笑)

ま、まだ3月11日の発表まで時間があるので、今は緊張していませんが(笑)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事

#### お詫びの挨拶

記事

公開日: 2011/03/03 22:08

3月1日

交通事故の被害者の方に、お詫びのご挨拶に伺うことになっていましたが、今日妻が入院して、息子を一緒に挨拶に連れて行くことになりました。

被害者の方の具合はその後良いということで、本当によかったです。ご家族の方にも大変ご心配をおかけしたことを、心からお詫びいたします。

挨拶に同行していただいた保険会社の方にも、お礼申し上げます。

おとなしく挨拶についてきてくれた息子も、ありがとう。

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 親子2人

記事

公開日: 2011/03/03 22:13



3月1日

妻が入院しました。

つつい悪い方向に考えてしまっ、正直不安です。泣きそうです。でも、すぐ側にいる息子を不安にさせてはいけな、普段と変わらないように振舞っています。

でも、ふとした息子のしぐさとか、ヨチヨチ歩きの後姿を見ると、張っていた気持ちが緩んで涙が自然ににじんてしまいます。

今日から男2人の生活がはじまりました。

二人で夜寝るのは初めてです。ちゃんと寝てくれるのかな。

息子は食べ物アレルギーがあるので、食べて良いもの悪いものをあらかじめ妻にメモしてもらいました。私は料理ができませんので、スーパーのお惣菜を買ってきました。

簡単なご飯の準備でも、息子からは目が離せません。手が届くところのものはなんでも触って散らかします子供ですから何にでも興味があるのが自然です。大人の都合を子供に当てはめようとするといらいらしてしまいますが、子供の気持ちをわかってあげないといけません。

子育てと家事、それだけで一日が終わってしまいます。

ご飯の準備して食べさせて、合間にオムツ交換、ゴミだしの準備、食器の片付け、お風呂を沸かし一緒に入って、寝かしつけて洗濯物をたたんで。

息子は、妻がいないことを気にしていないように過してくれました。それが逆に子供心に気遣っているのかななんて考えると、また泣きそうです。

仕事関係の方には、キャンセルの連絡をしました。東京の発表会もキャンセルです。

いろんな人にご迷惑をおかけしています。

妻が元気になってくれることを祈ることしかできません。

息子と二人で退院を待っています。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

一日

記事

公開日: 2011/03/03 22:04

3月2日

明日は建設業協会で“林野庁の住宅分野への地域材供給シェア拡大総合対策事業”の講習が行われ、そこで現在開発中の木造住宅の横架材の断面検討ツールの紹介をすることになっていましたが、出席できなくなりました。

講習には、木材協会の方にも講師をしていただくことになっていたのですが、その方に全てお任せすることになり、今朝家に来ていただいてツール紹介に関する引継ぎをしました。

昨晩は、息子が寝てからツール説明の原稿を作成して、それを今朝引き継ぎました。

家で引継ぎのときは、息子は横でガサガサしていましたが、そのうち相手にされないことに気が付くと寝てしまいました。(ありがとうwww)

AM7:00に起きて朝食準備、朝食を済ませて食器を洗って、風呂もついでに洗って、その後打合せ。

その後洗濯をして昼食準備をして、PM0:00から昼食を済ませたあと、PM1:00から病院に様子を見に行きました。

昨日入院の際には、先生から得に説明も無く(妻に説明があって、それを私は又聞きでした)、病室に入ると家族でも病室には入れないということで、そのまま息子と二人で帰りました。

今日は先生に会って、今後のことや病状の説明を受けようと思ったんですが、先生と会えるのはPM4:00からということで、いったん帰宅。夕飯の準備をして、再び病院に行き、先生から説明を受けました。

妻にも会って説明して、病院を出て帰宅途中に買い物を済ませ、帰ってから夕飯準備。

PM6:00から夕飯を済ませて、食器の片付けや洗濯物をたたんだり、明日のゴミだしをして風呂を沸かして、息子と一緒に風呂を済ませて、息子を寝かしつけたらPM9:00。

一日があつという間です。

病院に行った時、面会の為病室を出てホールで妻が出迎えてくれました。点滴を連れて立っている姿を見ると、涙がにじんでしまいました。いけないいけないと思い、気を紛らわそうと思ったんですが、お母さんを見つけた息子がぎこちない足取りで喜んで向っていく後姿を見ると、妻に顔を向けることができませんでした。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 再開

記事

公開日: 2011/03/03 23:19

被害者の方への謝罪挨拶を先日させていただき、今後の対応は保険会社を通じて進めていくことで被害者の方にもご了承をいただきました。

またブログを書こうと思います。長い間、たいへんご心配をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。

ブログを自粛している間の記事は書き溜めていましたので、随時アップロードしていきます。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### それぞれの想い

記事

公開日: 2011/03/04 00:00

最終更新日: 2011/03/05 00:15



3月3日

入院している妻にパジャマを買う為、ショッピングセンター:エミフル松前に行ってきました。

パジャマはどういう店に売っているのかわからなかったの、エミフルの案内窓口で聞いてみると、雑貨屋さんか下着屋さんがあると教えてもらいました。(下着屋さんに入る勇気は無いので、雑貨屋さんで。)

息子と二人でうろうろ歩き回って、パジャマを無事購入。

入院の時間つぶしに本でも買ってあげようと思い、本屋さんへ行ったんですが、いったいどんな本を読むのか思いつきません。マンガ?小説?雑誌?妻の好みかわからないことに気が付き、断念しました。

子供を連れて買い物をするのは、ほんとに大変だなと思いました。すぐ手がとどくところにある商品を掴もうとするので、目が離せないし、退屈してくるとぐずるし。ベビーカーがある間はいいですが、買い物を済ませてベビーカーを返した後は、買った荷物と子供を抱えて移動して、重労働です。世の中のお母さんは毎日これをしているのかと思うと、えらいなあと思います。

パジャマを妻に届けました。

点滴がはずれないので、着替えられないそうです。(気付きませんでした・・・)

息子はアレルギーなので、食べれないものをあらかじめ妻がリストで書いてくれています。それを見ながらスーパーの惣菜を買ったり、野菜炒めや魚を焼くくらいの簡単なことは自分でゆったりしてご飯を作っていますが、買った惣菜の表示を見て買ったものの、やっぱり不安なので写メで妻にチェックしてもらいました。

「ポテトサラダは駄目よ、マヨネーズ使ってるから」

かかかーΣ(⊂ω(⊂\_д\_⊃)⊃)ー!!!

普段ポテトサラダを食べていた記憶があったので買ってしまいましたが、普段食べているのはヨーグルトであえていそう(汗)

食べさせなくてよかったです。

»2009年12月  
»2009年11月  
»2009年10月  
»2009年09月  
»2009年08月  
»2009年07月  
»2009年06月  
»2009年05月  
»2009年04月  
»2009年03月  
»2009年02月  
»2009年01月  
»2008年12月  
»2008年11月  
»2008年10月  
»2008年09月  
»2008年08月  
»2008年07月  
»2008年06月  
»2008年05月  
»2008年04月  
»2008年03月  
»2008年02月  
»2008年01月  
»2007年12月  
»2007年11月  
»2007年10月  
»2007年09月  
»2007年08月  
»2007年07月  
»2007年06月  
»2007年05月  
»2007年04月  
»2007年03月  
»2007年02月  
»2007年01月  
»2006年12月  
»2006年11月  
»2006年10月  
»2006年09月  
»2006年08月  
»2006年07月  
»2006年06月

妻が退院する日まで、元気で息子の世話をする責任がありますから・・・。  
妻の退院予定は、まだ未定です。

お母さんが居ない夜を2回過した息子ですが、泣いたり寂しがったり全然せず、良い子でいてくれます。それが何よりの救いです。息子も小さいながらも異変に気付いて頑張っているのでしょうか。病院に会いに行っても、お母さんにべったりくっつくわけでもなく、病院の中を遊び場のように楽しんでいます。そういうのも全部「ボクはちゃんと元気でやってるから大丈夫」とお母さんに心配させないように振舞っているんだとしたら・・・。

私も頑張らないといけないなと思いました。

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
私のブログの動画を観る方法  
登録読者限定の記事について  
サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■ 過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~

■ フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■ 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 家庭教師

記事

公開日: 2011/03/05 22:50



今朝は、洗濯を昨日のうちに済ませておいたおかげで、少しのんびりした時間ができたので、二人で渡辺篤史の建物探訪を見ました。

アジアな雰囲気の家でした。

流し台の裏側部分を利用して本棚にしているのを見て、パッと「子供が本を引っ張り出すから大変だねえ」とつぶやいてしまいました。無意識に息子がそこらじゅうのものを掴んでちらかす様子が思い浮かびました(笑)

妻が入院して、変わりに子育てをはじめて5日目。妻に任せているときと自分がなにからなにまでするのでは、やっぱり違って、いろいろなことがわかります。とにかく子供の世話は大変です(笑)

でも、この経験は絶対住宅設計をする上で必要だと思っています。今までしていたことが、どれだけリアリティの無いことだったのかと思っています。細部までリアルにイメージできるようになってきた気がします。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 家族

記事

公開日: 2011/03/05 22:55



病院を出てちょっと行くと、菜の花がきれいにさいています。妻には菜の花のことはナイショです。観たいと思っても観れないので、残念な思いをさせないように。

今日は息子と二人で、ちょっとだけ観ました。(今までは妻と二人で観ていましたが。)

菜の花が咲いている間に、三人で見れることを願っています。

毎日息子を入院中の妻に会わせに病院へ通っています。

妻の状態がわかりました。最悪の結果は無いことがわかり、ほっとしました。本当によかったです。

まだ退院の日取りは1ヶ月先なのかいつなのか全くの未定で、体調が安定してくるのを待つからの判断になるようです。

でも、不安は解消されたので、息子と二人で頑張っけて帰りを待っていることができます。

この5日間、あっという間でしたが、妻のこと、息子のこと、家族のこと、そういうことを考えることができました。今まで漠然と思っていたことが、答えとしてまとまってきた気がします。

交通事故で気づ知らずの方に怪我を負わせる出来事があった後に、今度は妻の入院と続き、自分の家族だけでなく、他の人の家族のことをかんがえたり、そんな時間の中に居ることになったのは、何かあるのかと考えてしまいます。

地域のことを考える、家づくりを考える、そういうことは人を思いやる気持ちが無いとできるはずがないし、思いやりの無い人が“人のため”と言っても真実味が無いと思っています。

地域の人、近所の人、他の人、もっとも近くに居る自分の家族、家族を大切にすることから広がっていくんだと思います。

子供の動きは子育てを経験することでリアルにわかるように、不安とか悲しみとか痛みとか、そういうことを経験しないと他の人の気持ちを考えたり思いやることはできないんじゃないかと思えます。

昔の自分がそうだったと、今振り返れば思うからです。不安とか悲しみとか痛みとかを、それほど経験していませんでしたから。

- »2009年12月
- »2009年11月
- »2009年10月
- »2009年09月
- »2009年08月
- »2009年07月
- »2009年06月
- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

考えてみると、このブログを始めてから今日まで、自分で設計事務所を始めて妻と出会って結婚して息子ができて、その間にいろんなことを経験してきたことが記録されているんだなと思います。

自分は建築士で何がしたいのか、家づくりがしたいんじゃないかと、家族をつくりたい、家族づくりの手伝いができればと思っているんじゃないかと思いました。

自分の家族で学ぶことを通じて、他の人の家族が繋がる家庭をつくる、家をつくる、家はそのための道具・方法の一つだと思います。

家族をつくるなんて大それた事を言える立場じゃありませんが、自分がやろうとしている建築士の生き方、住宅建築家を目指す道のりは、そういう道を選んでるんじゃないかと思います。

家があっても家族がなかったらただの箱です。家族があれば家なんてなんでもいいです。家族を大切に、家族をつくるのが家づくりになるんだと思います。

仕事と家庭の両立、私は不器用なので正直両立はできません。家庭が第一です。家庭があれば、仕事は後から頑張ればいいし、仕事は自分の代わりはいますし、今回もいろんな人にご迷惑をおかけしながらも仕事は進んでいます(きっと)。でも家庭は自分しかいないし、壊れたら後から頑張っても元には戻らないと思います。

これは私の場合で、他の人と比較するつもりはありませんが。

私は自分の考えを整理中の状況で、他の人がわかるはずもないでしょうが、妻は漠然とわかってくれているんじゃないでしょうか。

伊藤君の理解者は「世の中でたった一人の奥さん」なんだね。  
(と、師匠に言われましたので、やっぱりそうなんですwww)

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
私のブログの動画を観る方法  
登録読者限定の記事について  
サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■ 過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~

■ フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■ 久万の住宅



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### 仕事と家庭の両立

記事

公開日: 2011/03/06 17:25



今日は日曜日ですが、家事子育てに休日は無いので、今朝もいつもと同じように息子に起こされました。

(p-)ほみイ

息子の方が先に起きて、しかも同じ時間に規則正しい生活です(笑)。朝ごはんを待たせるわけにはいかないので、一緒に起きて準備して、オムツも寝ている間にパンパンなので交換して、朝ごはんが終わったら家事の始まりです。

食器を洗って風呂掃除をして、そうしていると朝ごはんを食べるとうんちをするのでオムツ交換。うんちは嫌ですが、でもきれいなうんちだったら元気なんだと嬉しくなります。下痢だったら心配です。

洗濯機を回している間に、ご飯でちらかった床を掃除機をかけます。息子は自分で搦んで食べる時期なので、まわりがちゃんがらになります。

掃除機をかけ終わると、洗濯物を干して、やっと休憩。

と思いきや、息子がいっしょに遊んで欲しいと、本やおもちゃを持ってくるので相手して、するともう昼食の準備です。

息子はアレルギーがあるので何まわり食べられないので、大人の食事と別に妻は作っているんですが、私はとても無理なので、手間を省く為に一緒に食べられるものを作ります。

料理と言っても、焼き物しかできないので、サワラを焼いたり鳥のササミを焼いたり、野菜炒めや応用編で焼きそばです。煮物もできたらいいんですけど・・・、煮物や揚げ物などは、スーパーの惣菜を使って対応しています。

お昼ごはんを準備している間も、引き出しを引っ張って中の物を手当たり次第に出したり、本棚の本を出したり。まあそれはほっておいてもいいんですが、テレビを触るので困ります。コンセントに何かを突っ込まないようにふたをしているものも、はずして口に入れたりするので、ご飯を作りながらも目が離せません。今日はどこからか財布をひっぱりだしてきて、中のレシートを食べていました(汗)

やっと昼ごはんです。

一生懸命作ったご飯を、全部きれいに食べてくれたら嬉しいですね。

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

食べ終わって、食器を洗って、その後病院にいる妻に会いに行きます。  
 病院の婦りにスーパーに寄って買出し。買い物中も息子と格闘です(汗)  
 家に帰ったら、オムツ交換をして、夕飯の準備です。  
 その間に、息子はお昼寝です。

今日は雨が降ったので、洗濯物は取り込まなくてそのまま干しているの、やっとパソコンを使えます。

もうじき夕飯を温めて、食べた後は食器を洗って風呂を沸かして、明日は燃えるゴミの日なのでゴミだしをして、息子と一緒に風呂に入って、それから寝付くまで静かにしています。

だいたいそれでPM9:00になります。

ほんとお母さんの仕事って大変だと思います。  
 でも、楽しいです。仕事と違ってストレスが無いと思います。  
 忙しくて体力が必要で、自分の時間は全然ありませんが、穏やかに充実しています。  
 私は主夫が向いているのかも(笑)あ！でも料理ができないので駄目です。

家事子育てをやってみて、いろいろ気付いたことがあります。

この穏やかな時間は、やっぱり妻にやってもらいたいなということ、穏やかに感じられる為には旦那がしっかり働いているというお金の安心感が基礎に必要だということです。旦那が頑張って仕事していることを実感していれば、家事子育てに専念できるんだと思いました。

(そんなこと誰でもわかっている当たり前のことだと言われそうですが)

仕事と家庭の両立はできないと思っていたんですが、両立すると考えるから駄目なんだと思いました。両立という視点は、仕事と家事が別々にしての考えで、仕事の役割(夫)と家事の役割(妻)というふうに分業することになります。そうすると、自分の役割だけ果たしたらいいんだという考えになりかねません。相手の様子(夫なら妻の家事とか家庭のこと)を理解しようとしなくなって、夫婦に距離ができてしまうと思います。

仕事と家事を別けて考えるのではなくて、家族が一つの中で必要なことをやっていると考えれば、夫と妻は両方とも仕事も家事もするけど、どちらかが比率的に仕事側(家事側)に寄っている、7:3とか。それがときによっては5:5になり、入れ替わったりしながら、みんなで生きていくんだという感じでしょうか。

今まで仕事と家庭の両立について、仕事をバリバリすることで家庭を妻にまかせっきりで、仕事が忙しくて家庭を犠牲にする、家族を養う為に仕事をするのに、家族を犠牲にして仕事をするというのは矛盾していると思って、その答えがわかりませんでした。

でも、今回の経験を通じて、答えが見え気がします。

なんか、仕事をバリバリがんばれそうです(笑)夫が仕事を頑張る姿があって、家族が幸せになるということの意味がわかった気がします。

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~  
 ~ブログ記事をPDFにしました~

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### アクシデント

記事

公開日: 2011/03/07 23:18

夕飯の準備を終えて、やっとくつろぐ時間ができて息子と遊んでいると、飛びついてきたときに手が目元に当たった拍子にコンタクトレンズが外れてしまいました(´ロ`lll)

あわてて片目で洗面所に行った眼鏡に付け替えて、部屋の中を捜索することになりました。

(一) (一) (一) (一) (一) フルフル

側で息子が歩き回っているの、ヒイイ(!!!)踏まれたらやばいので椅子に座らせておいて、床を這いずり回って探しましたが、なかなか出てきません。

目の中も確認して、やっぱり無いのでまた部屋に戻って、20分かかってやっと見つかりました。

(´・`)/ カ〜

くつろぐ時間は捜索で終わって、夕飯を食べました。

目がドライアイ気味のようです。

ここ数日、夜の9時からパソコンに向っているの。

かたがた(´・`)/へ\_/パソコン

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

### 過去の記事

[»2011年04月](#)

[»2011年03月](#)

[»2011年02月](#)

[»2011年01月](#)

[»2010年12月](#)

[»2010年11月](#)

[»2010年10月](#)

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

### 記事

#### オリオン座

記事

公開日: 2011/03/09 21:34



今日も一日があっという間に終わりました。

ほとんど立ちっぱなしなのと、息子を抱っこして歩くこともあったりで、足の裏が痛いです。日頃は座って仕事しているので、いかに運動不足かということがわかります。

夜になって風呂に入る前に、ゴミだしの為に家の外にでたら、きれいな星空が広がり三日月が輝いていました。

オリオン座がゴミ捨て場までの道のりの正面に見えて驚きました。こんなにきれいに見えるんだ～。

デジカメで撮ったんですけど、やっぱり無理ですね(笑)

夜空に輝く星が私の目に届くまでの時間に比べたら、毎日なんてほんの一瞬ですが、ほんの一瞬を大切に生きているわけです。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

記事

公開日: 2011/03/10 22:24

アルミ樹脂複合サッシの大臣認定違反問題のその後の進展についての記事が出ていました。

被害3万棟超、複合防火戸の主要製品すべて違反

<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110309/546269/>

大変なことになっています。

引渡し後の改修工事が必要で、その費用はどこがどう負担するんでしょう・・・資本力のあるメーカーじゃないと、対応できないと思います。保険をかけているんでしょうか？

国土交通省の発表では、“認定仕様とは異なる仕様の製品が販売されていた”としているので、メーカー工場での商品の製造過程に問題があるようにとれます。認定書の仕様どおりに作ると商品化の都合上(大量生産上)問題があるので、都合よく変更したという具合に。でも、その場合はそもそも認定取得時の仕様が現実的でないという問題がある気がします。認定取得時には、実際の製造ラインや商品化のことまできっちり考えておく必要があります。それとも、商品化のことまで考えて認定の仕様を決めていたけど、認定手続き時に実際に作る商品とは違う仕様に変えて認定性能をクリアしたのかもしれませんが。第一、認定取得後に商品化するとき、メーカーがリスクを犯してまで大量生産を優先して変更するでしょうか。

認定手続きと商品化の間にずれがあるのか、そのあたりのことがわからないと、認定取得を目指すことが難しくなると思います。

大臣認定は、取るのも大変、取った後も大変。取らないほうがいいのかも。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 東北地方太平洋沖地震発生

記事

公開日: 2011/03/11 22:08



国内観測史上最大のマグニチュード8.8の大地震が発生。テレビに映る津波の被害には、全身に鳥肌が立ちました。

東京でも、地震の影響で公共交通機関がストップして、帰宅難民が出ているなど、混乱しているニュースが報じられています。

今日は東京で発表会に参加する予定でしたが、キャンセルしていました。もし予定通り行っていたら、この混乱に遭遇していたことになります。

私以外に、予定通り発表会に参加した方々はどうなっているのか、とても心配です。とりあえず、発表会場と宿泊ホテルが近いので、たぶんホテルに避難しているんだろうと思いますが、携帯をかけても繋がるはずもなく、テレビのニュースを観ながら心配するしかありません。携帯で連絡がとれたところで、何かできるわけでもありませんが。携帯のバッテリーがもったいないので、電話もかけない方がいいかもと考えたりします。



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 未曾有の災害

記事

公開日: 2011/03/12 00:00

最終更新日: 2011/03/13 00:38



東北地方太平洋沖地震発生から一夜が明けて、東京の発表会に行っている方との連絡がAM9:00頃にやっととれました。

すでに羽田空港に着いていて、松山行きの飛行機を待っている状況ということで一安心しました。あとはとにかく無事に松山まで帰ってきていただくのを待つばかりです。

テレビのニュースでは、羽田空港は全便運休とか、東京の公共交通機関も運休というテロップが流れていて、今日はホテルに缶詰めかなと想像していたんですが、モノレールが動いていたので空港まで行けて、松山行きの便も出ているということで、ニュースでの情報よりもだいぶ良くなっていることがわかりました。

電話での話では、発表会での発表を終えた後に地震が来て、かなり揺れたそうです。ビルの1階が会場で、スパンを飛ばしているホールだったので気持ち悪かった(壊れるんじゃないかと)ということでした。ホテルでも地震が来て、長周期地震動の揺れを体験したそうです。

一夜明けて、地震の被害状況が明らかになっていくにつれて、その凄まじさとまさに地獄絵図のような光景がテレビ画面に映し出されていきます。

日常が一瞬で地獄に変わるなんて、

こんなことが現実だなんて、恐ろしいことです。

ニュース報道すら残酷に感じてしまうし、こうやってブログに書いていること自体ひどいことをしている気持ちになります。被災された人達のことを考えると、手が震えます。

これが現実起こっていることなんだと心に刻んでいます。

- »2009年12月
- »2009年11月
- »2009年10月
- »2009年09月
- »2009年08月
- »2009年07月
- »2009年06月
- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月



ブログ内検索(b^-)

検索

### お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

### 記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード  
 ~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー  
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝

### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

- »記事
- »キャンペーン
- »料金表
- »日記
- »TOP

### 過去の記事

- »2011年04月
- »2011年03月
- »2011年02月
- »2011年01月
- »2010年12月
- »2010年11月
- »2010年10月
- »2010年09月
- »2010年08月
- »2010年07月
- »2010年06月
- »2010年05月
- »2010年04月
- »2010年03月
- »2010年02月
- »2010年01月

### 記事

#### Mw9.0

記事

公開日: 2011/03/13 21:24



東北地方太平洋沖地震のマグニチュードが、8.8から9.0に修正されました。

余震でも震度6強が起きる状況ということで、なすすべがないという思いがあります。

ニュースの映像を見ていると、木造ではだめだと思ってしまいます。津波の凄まじさの前には、木造では太刀打ちできない感じです。避難所などの建物になる学校や集会所などの公共建築物は、やはり鉄筋コンクリート造にしないといけないのではと思ってしまいます。

ニュースの映像の中で、鉄筋コンクリート造の家の上に船が乗っかっているものが映りました。船の重量と見たらかなりのものだと思うんですが、それを支えられている建物の耐力というのは、構造計算ではそんな重量を見ていないはずなので、どうしてなのかよくわかりません。とにかく、それだけ鉛直荷重の支持には余裕があるということでしょうか。木造だったらこうはいかないだろうなと思います。

強度と硬さは別物で、地震に対する強度は建築基準法で設計していれば鉄筋コンクリート造も木造も同じ強さですが、硬さでは木よりコンクリートの方が断然硬いです。津波に対してはその硬さが重要でした。

そもそも、津波に対しての設計はしていません。地震と台風だけです。津波はもう諦めるしかないのでしょうか。こんな凄まじい津波が来るなんて想像できるはずもないですし、そこまで考慮することになると、建築費や建物計画への影響もすごく大きくなります。

建築基準法では、建物が存在している間に震度6弱は1度だけ遭遇して、そのときに建物は壊れても倒壊せず人命を守るということで計画されていますが、余震だけでも震度6クラスが何度も起きていて、それでも形をとどめている建物はいったいどうなっているのか、それだけ余力があるということなのか。

耐震補強した建物も映像の中に出てきましたが、全国で盛んに行われている耐震補強が、今回どれだけ効果があったのか、それを検証しようにも、津波の被害が加わっているため検証は難しそうです。

マグニチュード9.0というのは想像以上ですし、しかも同時に3つの波形が出る地震が起こっているということで、そのような複雑な地震波に対しての構造計算はしていないでしょうから、今後建築基準がどうなっていくのか。

公共建築物木材利用促進法も、今後どうなるのか。

伝統構法の仕様規定化も、石場建てが津波に対してどうなのか。やっぱりアンカーボルトで固定するべきなのか。固定したところで、意味が無いのか。

今後の課題が山積みです。

命を育てていくことと、命を守ることが住宅の役目ですが、まずは命を守ることが絶対に必要なことです。その役目を今回果たすことができたのか。

»2009年12月  
»2009年11月  
»2009年10月  
»2009年09月  
»2009年08月  
»2009年07月  
»2009年06月  
»2009年05月  
»2009年04月  
»2009年03月  
»2009年02月  
»2009年01月  
»2008年12月  
»2008年11月  
»2008年10月  
»2008年09月  
»2008年08月  
»2008年07月  
»2008年06月  
»2008年05月  
»2008年04月  
»2008年03月  
»2008年02月  
»2008年01月  
»2007年12月  
»2007年11月  
»2007年10月  
»2007年09月  
»2007年08月  
»2007年07月  
»2007年06月  
»2007年05月  
»2007年04月  
»2007年03月  
»2007年02月  
»2007年01月  
»2006年12月  
»2006年11月  
»2006年10月  
»2006年09月  
»2006年08月  
»2006年07月  
»2006年06月

とにかく今は人命救助と、避難所の方の安全と生活の確保、二次災害への対策です。

被災地で住宅から救助された年配の男性のコメントが印象的でした。  
「チリ津波も経験しているから、大丈夫だよ。また再建するだけだよ。」  
と、前向きなコメントでした。まさに地獄の中に投げ出された方が、こんなに前向きだなんて。テレビで見ているこちらの方が背中を押される気がしました。

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
私のブログの動画を観る方法  
登録読者限定の記事について  
サイトポリシー

## 記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード  
~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー  
~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

- [»記事](#)
- [»キャンペーン](#)
- [»料金表](#)
- [»日記](#)
- [»TOP](#)

### 過去の記事

- [»2011年04月](#)
- [»2011年03月](#)
- [»2011年02月](#)
- [»2011年01月](#)
- [»2010年12月](#)
- [»2010年11月](#)
- [»2010年10月](#)
- [»2010年09月](#)
- [»2010年08月](#)
- [»2010年07月](#)
- [»2010年06月](#)
- [»2010年05月](#)
- [»2010年04月](#)
- [»2010年03月](#)
- [»2010年02月](#)
- [»2010年01月](#)

### 記事

## いつもと変わらないことのありがたさ

記事

公開日: 2011/03/14 21:39



いつもと変わらない週初め月曜日の朝をむかえました。とても穏やかな朝です。この同じ空の下で、東北地方では地獄のような状況になっているなんて。もういつもと変わらない朝をむかえることができない人たちがたくさんいます。毎日がどれだけあたりまえのことでないということを、いつ壊れてもおかしくないということを覚えておかないといけません。今自分に何ができるのか、何をしないといけないのか。

“東北地方太平洋沖地震に関する情報等”

■平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震による被災地の空中写真  
<http://saigai.gsi.go.jp/h23taiheiyo-hr/index.html>

国土交通省国土地理院  
<http://www.gsi.go.jp/>

■【写真特集】東日本巨大地震  
日本経済新聞

<http://www.nikkei.com/news/special/related-article/g=96958A88889DE0E6EAE5E6E4E3E2E3E3E2E1E0E2E3E3E2E2E2E2E2E2;>

- »2009年12月
- »2009年11月
- »2009年10月
- »2009年09月
- »2009年08月
- »2009年07月
- »2009年06月
- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

■map28  
PASCO

東北関東大震災(発生前、発生後)の地形変化図パスコでは2010年10月21日(発生前)と2011年3月13日(発生後)に撮影したTerraSAR-Xの画像を重ね合わせて、仙台市周辺の津波による地形変化図を作成しました。この図はTerraSAR-Xの画像の特性を活かし、地表面の凸凹が変化した箇所を抽出しています。濃い赤または濃い青で表示されている部分が津波で変化した箇所(浸水区域)と考えられます。

赤色は表面が滑らかになり反射強度が減少した領域を表し、津波の浸水により地表面が平坦になった区域と予想されます。

青色は表面が粗くなり反射強度が増加した領域を表し、津波により地表面に起伏ができた区域と予想されます。

[http://www.pasco.co.jp/disaster\\_info/110311/](http://www.pasco.co.jp/disaster_info/110311/)

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
私のブログの動画を観る方法  
登録読者限定の記事について  
サイトポリシー

記事ピックアップ

- 過去記事一式PDFダウンロード
- ~ブログ記事をPDFにしました~
- フォトギャラリー
- ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝  
作者プロフィール

二級建築士事務所  
愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事  
»キャンペーン  
»料金表  
»日記  
»TOP

### 過去の記事

»2011年04月  
»2011年03月  
»2011年02月  
»2011年01月  
»2010年12月  
»2010年11月  
»2010年10月  
»2010年09月  
»2010年08月  
»2010年07月  
»2010年06月  
»2010年05月  
»2010年04月  
»2010年03月  
»2010年02月  
»2010年01月

### 記事

#### 被災地支援

記事

公開日: 2011/03/15 22:39



東北地方太平洋沖地震の被災者の方々になにかできることはないのかということで、募金に松山市役所に行ってきました。

妻がコツコツ貯めていた貯金箱の中には、54枚入りおむつが10セットほど購入できるお金が貯まっていたので、それを息子と二人で持って行きました。

松山市役所1階ロビーに、小さな募金箱がありましたが、そこには貯金箱は入らないので、9階の市民参画まちづくり課まで直接持って行きました。

息子が貯金箱を握って、職員の方に渡しました。

小さなお子さんがあるご家族では、ミルクや食事、おむつなどが大変でしょうから、募金がそういうものになるかどうかはわかりませんが、何かのお役に立てばと思います。

■松山市 市民参画まちづくり課  
「平成23年東北地方太平洋沖地震被災者義援金の募集について」  
[http://www.city.matsuyama.ehime.jp/simins/1204158\\_914.html](http://www.city.matsuyama.ehime.jp/simins/1204158_914.html)

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



#### 作者

伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 「頑張れ」より必要なこと

記事

公開日: 2011/03/16 21:24



今朝は、愛媛県でも冷え込みました。東北地方太平洋沖地震で被災した地域は雪が降っていて、寒さが被災者の方々の厳しい状況に追い打ちをかけています。

救助活動には、日本国内だけでなく世界中から手が差し伸べられています。

そんな中で、被災者の方の中には家族の消息がわからないまま、救助活動に参加している方がいます。

自分が同じような状況だったら、自分の家族を探すことをおいておいて、他の人の為に行動することができかどうかわかりません。

被災地は、瓦礫の山が永遠に広がる荒野が続いています。その様子を目の当たりにしたら、その中で家族が生きているかどうかの望みは絶たれてしまうかもしれません。絶望してうずくまっているよりも、とにかく今できることを探して行動するしかないとなるのかもしれませんが。自分の家族の代わりに、他の人の命が救えるなら。そんな極限の選択しかできない状況を強いられているのかもしれませんが。

そんな状況の方に、「頑張ってください」という言葉は厳しすぎるかもしれません。頑張れというのは、どこか他人事というか、一緒になって辛い思いをしている人と共にするという姿勢ではないように思えるからです。(だれもが頑張れるわけではないし、みんな同じだけ頑張れるわけではないです。)その人の思いを少しでも分かろうとする姿勢、寄り添おうという姿勢が必要だと思います。

頑張れというよりも、側に一緒にいること。その人ができないことを代わってすること。手を引っ張って一緒に前に向かっていくこと。そういうことだと思います。

その上で、被災者の方たちが少しでも普通の生活に近付けるように、救助活動と復興支援を行うことです。それが「その人ができないことを代わってすること」になるのかもしれませんが。

自分にはテレビ放送を見守ることしかできません。テレビ放送の中で、一人一人にできる協力を伝えてくれますので、募金とか節電とか、今できることに努めることくらいです。せめてそれくらいはしたいです。

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 構造と料理

記事

公開日: 2011/03/18 00:00

最終更新日: 2011/03/19 00:25



今日は、息子のアレルギー検診の為に、妻と3人で小児科に行きました。待ち時間を含めると1時間くらいかかるということで、私は失礼して(笑)本屋さんで時間つぶしさせてもらいました。

東北地方太平洋沖地震の情報が連日報じられる中で、私の頭の中も住宅の耐震性や防災計画のことでいっぱいです。

本屋さんで手がいくものはやっぱり”建築技術”です。

最新の4月号では、構造基準の数値の根拠を説明する特集が組まれていました。タイトルに”2”とあったので、特集は2回目で、1回目が去年の2月号にありました。(こんな特集があったなんて、見逃していました)

住宅の耐震性や防災計画を考える上では、まず現在の基準の根拠を知る必要がありますので、とりあえず2月号を購入しました。(まえがきを参考に最後に書いておきました。)

4月号も買おうか悩んだんですが、あまり気が進みません。

大震災で全てが破壊された状況を見て、理論的なことを一生懸命考えても、どうせ壊れてしまうのかと思ったら、なんだかむなしくなってしまうというか。細かなところをつつくりよりも、程ほどでいいんじゃないかと。

一生懸命考えたものも、そうでないものも、一緒に粉々になってしまうんだったら、五十歩百歩だから程ほどでいいんじゃないかと。

そんなふうマイナスに考えてしまうのは、やっぱり大震災の衝撃が大きすぎたと思います。もう少し前向きな気持ちになるまで、休憩することにします。

ということで、本棚に並んでいる”いごこちのいい住まい”とか、”快適な暮らし”とか、”建築とは”なんていう新しいものを創りだす為の知識を得る意欲は沸きません。

別のフロアに移って、もっと現実的で実用的な本をと思い、料理の本を買いました。

頭であれこれ考えるよりも、料理している方が楽しいです。

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

特集:規基準の数値は「何でなの」を探る  
 監修:和田章

まえがき

建築を設計し施工するにあたり、守らなければならない数値が非常に多くあるが、これら一つ一つが決められた根拠には、普遍的に正しいと言えるものから、経験的に決められたものまで、いろいろある。

中には、決められた当時に、はっきりとした根拠はなく、何らかの値に決めざるを得ず、委員会の議論などを経て決められたものもある。

このような値は、その後の地震災害、強風による災害、長期の使用にあたって生じる損害などの経験を積んで、修正しなければならないし、技術的な進展によって見直さなければならないこともある。

このような変更がなかった場合においても、設計者、施工者の判断によってこれらの値を安全側に変更して用いることがあってもよい。

このとき、最も重要なことは、これらの数値が決められた根拠が明らかになっていることである。

学会規準などには、これらの記述があると思うが、根拠が明記されていないものもあり、今回の特集はこれらを整理するよいきっかけになると思う。(和田章)

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~  
 ~ブログ記事をPDFにしました~

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅



## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

メッセージを送る

»プロフィール

### 記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

### 過去の記事

»2011年04月

»2011年03月

»2011年02月

»2011年01月

»2010年12月

»2010年11月

»2010年10月

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

### 記事

#### 東日本大震災から木造住宅の耐震性について考える

記事

公開日: 2011/03/18 00:00

最終更新日: 2011/03/19 00:18



東北地方太平洋沖地震の惨状が、メディアを通じて連日発信されています。映像からは津波による被害のすさまじさが強烈に印象に残ります。木造住宅は粉々に破壊されています。

木造住宅を含め、建築物の構造性能に関する評価は、今のところ見当たりません。安易に情報を出して、社会を混乱させてはいけませんので、きちんとした検証を行った上で情報を発信すべきだと思います。

建築物の検証よりも、まず今やらなければならないことは、被災者の方々の救援や、まだ見つからない安否不明者の検索ですので、建築物の情報が出ないのは当然です。

東北地方太平洋沖地震の後に、埼玉県周辺でも大きな地震が発生し、大震災の影響が他のプレートにも影響したようです。今回の大震災は予想される南海地震に近い規模だったという情報もあり、30年以内に起きるといわれている南海地震に対する危機感を改めて感じたところです。

南海地震が起きたとき、木造住宅の耐震性はどの程度有効なのか、我が家は大丈夫なのか、そんなことを思う方もいるのではないのでしょうか。今回の大震災を教訓にしないといけなことはたくさんあります。

今後の取り組みについては、きちんとした情報が出てからですが、今できることについて、連日発信されている映像や情報から木造住宅の耐震性について考えます。

一枚の写真があります。宮城県気仙沼市の被災直後の様子です。

気仙沼市は、震度6強を受け、その後も震度6近い余震を受けています。

建築基準法の木造住宅(4号建物)は、壁量計算で耐震計画を行っていますが、その想定する地震は震度6弱です。

一次設計: 建物は多少傷むが、直してまた使うことができる耐震性を確保するのが震度5程度で、一次設計を満たすことで二次設計も担保しています。一次設計では建物変形量1/120以内に抑えて、地震力が作用しなくなった後には元の状態に戻る性能にしています。

二次設計は、変形量1/15まで進んで、建物は破壊されますが倒壊せず人命を守ることを目的にしています。

しかし、二次設計の状態を耐えられるのは1回だけです。1回震度6弱に遭遇すると、もう建物は破壊していて変形が残ってもしかたないことになっています。

>>2009年12月  
 >>2009年11月  
 >>2009年10月  
 >>2009年09月  
 >>2009年08月  
 >>2009年07月  
 >>2009年06月  
 >>2009年05月  
 >>2009年04月  
 >>2009年03月  
 >>2009年02月  
 >>2009年01月  
 >>2008年12月  
 >>2008年11月  
 >>2008年10月  
 >>2008年09月  
 >>2008年08月  
 >>2008年07月  
 >>2008年06月  
 >>2008年05月  
 >>2008年04月  
 >>2008年03月  
 >>2008年02月  
 >>2008年01月  
 >>2007年12月  
 >>2007年11月  
 >>2007年10月  
 >>2007年09月  
 >>2007年08月  
 >>2007年07月  
 >>2007年06月  
 >>2007年05月  
 >>2007年04月  
 >>2007年03月  
 >>2007年02月  
 >>2007年01月  
 >>2006年12月  
 >>2006年11月  
 >>2006年10月  
 >>2006年09月  
 >>2006年08月  
 >>2006年07月  
 >>2006年06月

今回の東日本大震災では、余震だけでも震度6弱を超えるものが度々起こっていますが、木造住宅がバタバタと倒壊していく映像は出てきません。それだけ余力が残っているということでしょうか。

気仙沼市の被災直後の写真に戻ると、津波で建物が流されていますが、形を留めています。粉々になっているのは、建物どうしが流される途中でぶつかったり、鉄筋コンクリート造など硬い建物にぶつかったりしたことによるものだと想像します。

津波は震度6強以上の地震の後何分かしてやってきているので、津波で流された建物が形を留めているということは、地震そのものによる倒壊は起きていないことがわかります。

地震に対しては、木造住宅はその役割を果たしているわけです。

地震で人命を守り、津波が来るまでの間に避難する。もし地震直後に倒壊していたら、がれきの中に埋まっている人は避難することもできず、そのまま津波を受けてしまうことになります。

今回の大震災で、これだけ建物が破壊されて町が消え去っている中で、死者が何十万人規模になっていないのは、津波の避難をすることができた人が多かったからだと思います。

それは、木造住宅の耐震性がきちんと機能したからです。

気仙沼市の住宅は、特別耐震性能が高かったのかですが、写真から見る建物は、品確法や長期優良住宅で造られているものではなさそうですので、建築基準法レベルだと想像します。品確法では建築基準法の1.25倍または1.5倍の耐震性を考えますが、そこまでしなくても震度6弱以上の地震に対しても耐震性は有効だったと思われる。

耐震改修促進法で、耐震診断と補強が行われているところ。耐震補強の場合は、建築基準法とは違って二次設計時に倒壊しないように計画します。

といっても、どちらも想定する地震の大きさは同じですから、一次設計を持って二次設計も担保する建築基準法と、二次設計を評価する耐震診断どちらも有効だという評価ができると思います。

とにかく、1985年以降の耐震基準まで木造住宅の性能をもっていき必要はあると思いますが、それをすれば震度6弱以上でも倒壊せず人命を守ることができる可能性はかなり高くなると思います。

それと、木造住宅の耐震計画方法である壁量計算で想定する建物規模と条件に、見合った範囲内での住宅設計を行う必要があります。壁量計算で想定する建物規模と条件にマッチしない無理がある計画をすると、余力(安全率)が少なくなっていく。今回の大震災で震度6弱を超える地震に遭遇しても倒壊しなかったのは、余力が働いた為だと思います。

壁量計算の想定条件は、木質構造基礎理論(日本建築学会)や建築技術などの書籍をみないとわかりませんので、なんでもかんでも壁量計算で住宅を計画できてしまうのが実情です。

もう一つ、建物の耐震性に関わるのが地震の周期と建物の固有周期の関係です。

今回の大震災の周期は、建物の周期よりも短かったという情報があります。そのために被害が少なく済んだということだそう。

壁量計算では建物の固有周期を知ることはできません。建物の周期を別途計算したとしても、敷地地盤の周期も関係すると、地震の周期がどんなものが発生するかはわかりません。

木造住宅では、周期を外す事を考えるよりも、周期が重なってダメージが大きくなった後のことを考える方が有効かもしれません。

ダメージを受けて建物が破壊されると、建物の固有周期は長くなっていきますので、地震の周期から外れていくこととなります。しかしその状態では、建物の変形量は1/15に達しているため、その後は倒壊までの時間をどうかせぐかです。1/15を超えるといっきに倒壊してしまうか、壊れながらも粘ってじわじわ倒壊に向うか。1/15を超えると、地震力の影響よりも建物の重量による押しつぶし効果の方が影響が大きくなります。そのことをふまえて、上部荷重を少なくするとか、柱や梁の接合部や耐力壁を粘りのある仕様にするとか。

壁量計算で耐力壁の数を満たせばいいという短絡的な設計では避けなければいけません。

設計者は自己啓発で知識向上に努めなければいけません。

住宅は家族の命を守る役目を担っているんですから。

ブログ内検索(b^-)

検索

## お知らせ

ブログを見てくださる方へ  
 私のブログの動画を観る方法  
 登録読者限定の記事について  
 サイトポリシー

## 記事ピックアップ

■ 過去記事一式PDFダウンロード

~ブログ記事をPDFにしました~

■ フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■ 久万の住宅

## 伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

### プロフィール



作者  
伊藤 正孝

#### 作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:  
[m110adr@hotmail.co.jp](mailto:m110adr@hotmail.co.jp)

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

### 記事カテゴリ

- [»記事](#)
- [»キャンペーン](#)
- [»料金表](#)
- [»日記](#)
- [»TOP](#)

### 過去の記事

- [»2011年04月](#)
- [»2011年03月](#)
- [»2011年02月](#)
- [»2011年01月](#)
- [»2010年12月](#)
- [»2010年11月](#)
- [»2010年10月](#)
- [»2010年09月](#)
- [»2010年08月](#)
- [»2010年07月](#)
- [»2010年06月](#)
- [»2010年05月](#)
- [»2010年04月](#)
- [»2010年03月](#)
- [»2010年02月](#)
- [»2010年01月](#)

### 記事

#### 春と肉じゃが

記事

公開日: 2011/03/19 21:38



お昼に息子を連れて、家の近所を散歩しました。

家の裏の水路沿いに、息子が指差す先を見ると“つくし”が生えていました。こんなところのもつくして生えるんだとびっくりしました。

家の近所は春の陽気に包まれて、何かの花の甘酸っぱい香りがほのかにします。やさしい香りです。菜の花なのか、梅の花なのか、よくわかりませんが。

今晚は“肉じゃが”を作りました。

昨日買った料理本がさっそく役立っています。

Σ(´ロ`lll)

砂糖と塩を入れ間違えてしまいましたー!!

妻に応急処置をしてもらって、なんとかりましたが、後で喉が渇きそうです(汗)